

2020年度

関西北陸ブロック 活動事例集



大阪・兵庫・和歌山エリア



京滋・奈良エリア



北陸エリア



今年の一取り組みの振り返りに！
来年に向けてのヒントに！

2020年度の関西北陸ブロックの
取り組みが詰まった一冊！





2020年度 関西北陸ブロック活動事例集 目次 (📌を押すと該当ページに飛びます)

新入生コミュニティ企画

- 📌 集まれオンライン座談会
~放課後おしゃべりタイム~ 滋賀大学大津地区生協
- 📌 オンライン交流会 滋賀県立大学生協
- 📌 友だちフェア 大阪市立大学生協
- 📌 大学生活なんでも相談会 大阪経済大学生協

SNSを利用した取り組み

- 📌 SNSの発信 同志社生協
今出川キャンパス
- 📌 SNSの取り組み 奈良教育大学生協
- 📌 組織部LIVE STREAM 大阪市立大学生協






新学期・キャリア形成の取り組み

- 📌 オンラインNewFaceParty 富山大学生協
- 📌 SNSを中心とした新入生対応 龍谷大学生協
- 📌 ミニ入学準備説明会 龍谷大学生協
- 📌 就活セミナー 龍谷大学生協
- 📌 学生委員会の新学期活動 奈良女子大学生協
- 📌 履修相談会（後期） 奈良教育大学生協
- 📌 合同委員会説明会 大阪電気通信大学生協
- 📌 オープンチャットでの履修相談 神戸市立外国語大学生協
- 📌 保護者説明会 大阪樟蔭女子大学生協
- 📌 入学準備ガイダンス 兵庫県立大学生協
- 📌 オンライン家パ 神戸大学生協
- 📌 Discordでの取り組み 和歌山大学生協
- 📌 キャンパスライフフェスティバル 和歌山大学生協





2020年度 関西北陸ブロック活動事例集 目次 を押すと該当ページに飛びます




健康・安全の取り組み

- | | |
|---|-------------------|
|  自炊キット | 福井大学生協 |
|  レシートバランス調査 | 滋賀大学彦根地区生協 |
|  栄養レンジャー
食生活相談SHOW! | 同志社生協
今出川キャンパス |
|  健康フェスタ2019 | 大阪市立大学生協 |
|  オンラインKG共済
NEWS | 関西学院大学生協 |





大学・他団体連携に関する取り組み

- | | |
|--|----------|
|  ジェンダー学習会 | 奈良女子大学生協 |
|  大学との協力での取り組み | 神戸薬科大学生協 |

総会・総代会、店舗の取り組み

- | | |
|---|----------|
|  総代会議 | 京都教育大学生協 |
|  お菓子BOX | 奈良県立大学生協 |
|  議案書ダイジェスト | 大阪大学生協 |

社会的課題に関する取り組み

- | | |
|---|--------------------|
|  ペットボトルキャップの回収 | 阪南大学生協 |
|  1.17防災の取り組み | 甲南大学生協 |
|  週刊ちょっきに | 近畿大学生協 |
|  部内勉強会 | 神戸市立工業高等専門
学校生協 |

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.9.30
Vol.040

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

新入生の気持ちに寄り添う対応

滋賀大大津の生協学生委員会Willing(以下Willing)のオンラインでの交流会では企画段階から新入生への気持ちを大事に考えていました。

活動概要

Willingでは、新入生の不安解消や新入生同士のコミュニケーションの場を作るためにオンラインでの座談会を開催しました。企画を作るうえで新入生の気持ちに寄り添うことを1番大切に考えました。



POINT.1

現状分析を生かして企画へ！

企画を作る上で、店長さんと正副委員長で打ち合わせを何度も重ねました。その中で、大学が入構禁止の状況やWEB授業の状況を踏まえて新入生の現状を考えた共有しあったりしました。その中で、「新入生は誰とも話さない1日を送っているのではないか」という現状も見えてきました。

ここでは、企画の申し込みと同時にアンケートを取り「どんな企画をしてほしいか」「不安なことはなにか」などを聞き、それを企画の中会話の内容として生かしていました！

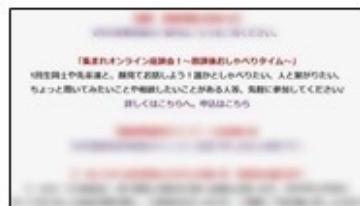
当日は、なるべく新入生が話しやすい雰囲気大切にするために、少人数でのグループを作ることを意識し、新入生2人に対してWillingが1~2人を回覧していく形式でおしゃべりタイムを行いました。参加者から、少しでも人と話すことができよかったですと感想がありました。



POINT.2

職員と連携しての企画運営

この企画では店長さんと連携した情報宣伝が行われました。ホームページや、新入生全員にメールで案内をすることができより多くの新入生に案内を届けられました。学生と職員がともに作っていくことでできる幅が広がっていきます。



【新学期】
×
【広報】



滋賀大学大津地区生協
集まれオンライン座談会
放課後おしゃべりタイム

企画担当者からのコメント

オンラインでの企画で、さらに対面での情報宣伝が不可能という状況の中開催した企画ですが、メールアドレスを使って企画の存在を知らせました。先輩や同回生と交流する場ということで、参加者が気を遣わずに過ごせるように関与する先輩の数を調整したり、緊張をほぐすために最初に少人数でコミュニケーションをとる場を設けました。直接的な宣伝ができない分、情報宣伝が不十分だったことが課題です。

職員の方からのコメント

コロナにより、新入生に対する企画がすべてキャンセルとなり学生委員会のモチベーションが心配でした。特に、今年は参加者100人を目指して頑張ってきたので、ショックは大きかったように思います。新入生は、友達もいなくて、授業も勝手がわからないままオンラインがスタートしているという事実を知りました。そんな新入生に対して、何とか力になれないかということを試行錯誤して実施しました。結果として、参加者は増えませんが、取り組もうとチャレンジしたことが成果です。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生と関わることで不安や悩みを解消するほか、現状や実態について情報を得ることができた。なかなか直接的なコミュニケーションをとれない中、人と話す良い機会になった。

●取り組みから見えた課題

人の輪を広げる場であったが、先輩はともかく同回生との交流は参加者が少なかったため、不十分だと感じた。オンラインのどこからでも参加できる強みと参加しにくい弱みが出てしまったと思う。



組合員の現状

入学したが学校に行けず、先輩や同級生と実際に関わる機会も少ないため、大学生活に不安を持っている。



組合員の理想の姿

先輩や同級生と関わり交流することで、大学生活への不安や悩みを解消でき、交友関係が広がる。

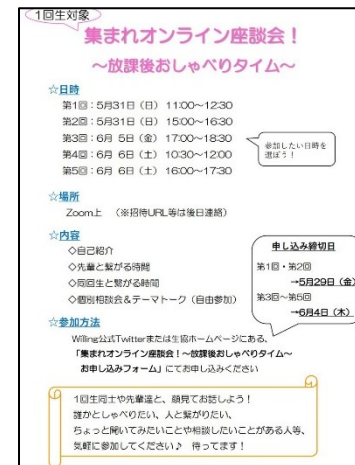
2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実地を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう。

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう



Twitter



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [菊池 愛海]
Kikuchi.Manami@univ.coop

新入生の現状に寄り添った友達企画

参加者からは「大学の友達ができた」や「学科のことを先輩に相談できた」という感想が多くあり開催してよかったと思います！
滋賀県立大学生協 2回生 田付 新朋

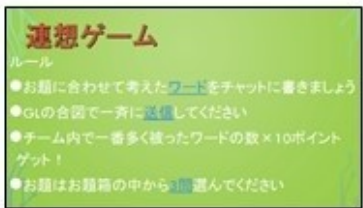
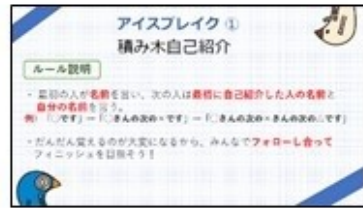
活動概要

2020年6月20日(土)、27日(土)、28日(日)
Zoomを用いて学部ごとに3日に分け、学科ごとに班を作り交流してもらいました。先輩への質問タイムの時間を設けて新入生の悩みを解消することができました。



POINT.1

新入生同士が仲良くなれるための工夫点



企画を考えるにあたってTwitterにて「友達ができていないから交流したい」という新入生の声があることに気づき、実際に滋賀県立大学生協学生委員会のTwitterで新入生がオンライン交流会の場を求めているのかアンケートを取りました。アンケート結果から企画を行うことに決め、新入生同士が連絡し合える友達を作ってもらうことを企画の目的としました。3日間の開催で合計28人の参加がありました！企画内容としてはオンラインでも楽しむことができ仲間になることができるゲームを3つ用意したり、班のメンバーと話すフリートークの時間や先輩への質問タイムの時間があり、フリートークの時間がとても好評でした！参加者アンケートには、参加者全員が「同じ学科の友達・先輩と交流することができた」と回答しました！

POINT.2

振り返りを次に活かす！！

3日間の開催でしたが、1回ごとに企画後すぐに振り返り会議を行いました。慣れないオンライン企画だからこそ振り返りを重ねてより良い活動につなげることができていました！最終日には運営側もスムーズに対応することができ、参加者とともに企画を楽しむことができました！



〈考えてみよう!!〉

オンライン企画に取り組んでいる大学が多いと思います。オンライン企画をした結果、組合員がどうなったかを考え、継続して組合員・新入生にアプローチするにはどんなことができてそうか考えてみよう！

ブロック学生事務局 [橋 遼太郎]
Tachibana.Ryotaro@univ.coop

【新学期】



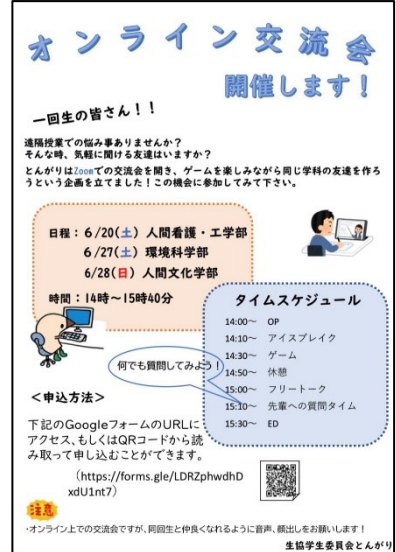
滋賀県立大学生協 オンライン交流会

企画担当者からのコメント

Twitterを用いて新入生にアンケートをとったところ、4月からの対面授業で新入生が大学の友達が全くいない人が多く、オンラインでも交流会を開催してほしいという声が多かったので開催することにしました。オンラインの交流会という前例のないことをオンラインで会議するという今までやったことないやり方でやったので、進めるときに苦労しました。その中でパワポ、ゲーム制作担当・参加者とのコンタクト担当・全体の流れを考える担当などに役割分担をすることで、形としては成功させることができました。（学生委員長 田付）

職員の方からのコメント

4月以降大学が立入禁止となり、学生委員会自身も部会など開催できていない中、手探りで開催に繋げることができました。例年と違う環境の中で例年になくニーズが生まれていることに目を留めて、行動に移すことができたのは非常に良かった。オンラインで勝手は違うものの、これまでの学生委員活動における企画準備や参加者とのコミュニケーションなどのスキルやノウハウが活かされたものだったと思います。（専務理事 藤井）

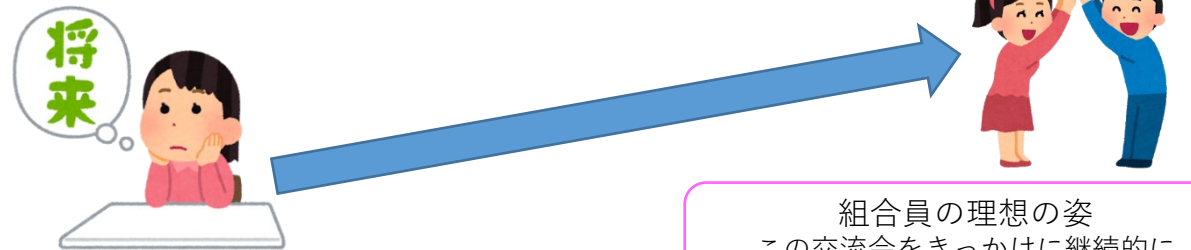


Twitterの情宣

オンライン交流会の企画書はこちら ()

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
友達ができるかどうか心配なことや学科・日常生活のことに対しての不安なことを同じ学科の先輩が説明することで悩みを解消することができた！また、新入生同士で交流することができました！
- 取り組みから見えた課題
オンラインの活動の中ですぐに仲良くなることは難しい。対面でやっていたことをそのままオンラインで活用するのではなくオンラインでのやり方を見つけていきたい。また、仲良くなるにはゲームコンテンツよりも交流することに重点を置いていきたい。



組合員の現状
友達がいない新入生が多く、学科のことや日常生活に対して不安なことが多い

組合員の理想の姿
この交流会をきっかけに継続的に新入生同士が仲良くなってもらいたい

2021年度活動方針との関係性

- 活動方針③：学び
組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう
- 大切にしたい視点②
学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう



オンラインでもつながりを！

3月末に予定していた対面での新入生応援企画が中止となりましたが、想いはそのままにオンラインでつながりの場を提供しました！

活動概要

日時：2020年5月31日(日)15:00~16:00

媒体：Zoom

内容：オンラインでミニゲームや雑談会を行い、新入生どうしが楽しくつながる場を提供した。また、先輩と相談する機会も用意して、新入生の新しい大学生活への不安を少しでも減らせるようにした。



POINT.1 新入生どうしがつながる場を用意できた！



大阪市立大学では早くから前期の対面授業が禁止され、キャンパスへの入構も禁止が決定され、新入生は大学で友達を作る機会を失われました。SNS上では「友だちがいなくて」「授業どうしよう」など新入生の不安の声が相次いでいました。

そのような声を受けて、オンラインで新入生どうしが交流する機会を設け、**新入生の友達作りのきっかけとなる場を用意することができました！**

また、オンラインでの授業が始まった時期に、オンライン授業で使用される媒体を使って交流したり、先輩と話したりすることで**新入生の大学生活への不安を軽減することができました！**

POINT.2

たすけあいの輪が広がった！

参加者の一人が学部LINEに参加していて、他の参加者は参加していなかったため、この機会に全員学部LINEに参加することができました。

新入生どうしがつながる場を用意したことによって、結果としてたすけあいの輪が広がりました！今後の大学生活でもその関係は続くことでしょう！

[新学期]



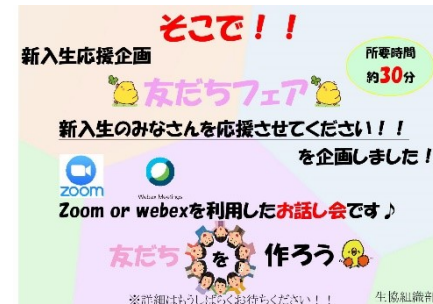
大阪市立大学生協 友だちフェア

企画担当者からのコメント

新入生に友だちがいなくてという点から交流の場を設けて、つながりの輪を広げられる企画にしました。少人数でブレイクアウトセッションを実施し、1対1で話せる場を作ったことが工夫した点です。課題としては大きなつながりの輪を広げられるほど十分な人が集められなかった点があげられます。

職員の方からのコメント

連合会アンケートでも明らかになったように、新入生の皆さんの大きな問題の一つに「友だちがいなくて」ということがありました。新入生の声を聞いて、実際に場を提供できたことはとても良かったと思います。継続的にできると良いですね。



Twitter 情宣は [こちら](#)

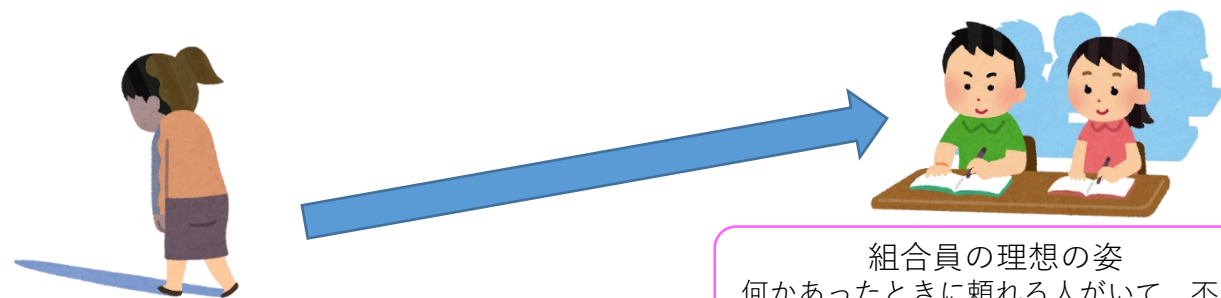
取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

同じ学部の新入生同士のつながりができて、新入生は相談することができるようになって、不安が和らいだ。

●取り組みから見えた課題

企画の認知度を上げて、多数の組合員（新入生とその同じ学部の先輩）を巻き込んで、もっとつながりを広げることができればよかった。



組合員の現状

新入生は友だちがいなくて一人で学業などについて相談相手がいなくて困っている。

組合員の理想の姿

何かあったときに頼れる人がいて、不安が解消され、学業に専念できる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう

新入生に寄り添って不安を解消！

昨今の情勢により、例年より不安を抱えた新入生に履修方法をはじめとする大学生活に関する相談に乗り、解消することができました！

活動概要

日時○2020年4月1～3日
場所○大阪経済大学 学生会館2階
内容○履修登録の方法や組み方をはじめとする大学生活で新入生が不安に感じることの質問や相談に応じた。



POINT.1

新入生に寄り添うことができた！

ウイルス感染拡大防止のために定員を設けて、当初の予定より規模を縮小し、アルコール消毒を実施するなど、十分に注意して大学生活なんでも相談会を行いました。大学の履修ガイダンスが中止になったため履修の組み方が分からないなど、履修の方法を知らない新入生が多くいました。そのような新入生にとって先輩が履修の方法を教えてくれるという機会はとても貴重だったと思います。新入生の現状に寄り添い、不安を解消することができました！



POINT.2

先輩としての経験を活かす

相談に来た新入生の中には「何をしたらいいのか分からない」「何が分からないのかも分からない」という状況の人も多くいました。先輩としての経験を活かして実際の大学生活を紹介し、新入生の大学生活のイメージを膨らませることができました！



【新学期】



大阪経済大学生協 大学生活なんでも相談会

企画担当者からのコメント

新入生を学部ごとに分けることで専門的な質問にも対応できるようにし、GIにいない学部に関しては全学部の履修の仕方をまとめたマニュアルを作成し対応できるようにしました。また、GIのメンバーに対して参加者が多かったため時間内で参加者全員からの質問に答えることができるように、あらかじめ来そうな質問や役立つアドバイスをピックアップしました。相談会をスムーズに進めるために、分からないことが分からず、緊張して質問がしづらい新入生に対して初めにピックアップした質問の説明を通じて話しやすい雰囲気づくりを心がけました。

職員の方からのコメント

3日間にわたって、午前・午後の担当シフトを学生委員みんなで話し合っ、当日の受付なども分担して取り組んでくれました。当初「履修説明会」としていたので、新入生が大学に問い合わせたというエピソードもありますが、逆にそれによって大学の職員さんも見学に来られたりして「新入生にとってありがたい企画」「感染対策もちゃんとしている」という評価もいただきました。この企画の中で生協職員のかかわりは、部会と一緒に参加して相談会を「生協の企画として一緒に作り上げる」ことを意識してきたこと。相談会に申し込まれた新入生への連絡をKLASのメール機能を活用して行うときに、相談にのったことです。学生委員の各メンバーが主体的に取り組んでくれたことがとてもよかったです。

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
この取り組みを通して新入生は大学生活を具体的にイメージすることができた。またこの場で不安を解消し、個々の課題を知ることで自分の理想の大学生になるための一歩を踏み出すきっかけになった。
- 取り組みから見えた課題
いろんな生活（部活が忙しいなど）に対しての履修の組み方を提案する準備ができたならよかった。大学の就職課の人と連携して、より専門的な提案ができ、就職課へのハードルを下げることであればよかった。



組合員の現状
新しく始まる大学生活への不安が大きい。特に履修の組み方が分からない。



組合員の理想の姿
大学生活においてできること・したいことに余すことなくチャレンジできる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう

以下、過去にいただいた回答です！

5万円はいつ？
→6月下旬に学内メールにて給付開始予定
参考：<https://www.osaka-ue.ac.jp/information/news/detail-6049.html>

各学部ごとの男女比は？
→経済 8：2
経営 7：3
情社 6：4
人科 5：5

大学生って何が大事？
→自分で勉強しないと何も得られないから自主的に動くべき！
自由な時間多いので、時間の使い方が重要！自己管理がとても大切

就活について？
→B館就職課に行ってみましょう！

学部ごとのコース割合、コースって？
→経済：産業と企業コース・金融コース・暮らしと環境コース・地域経済とまちづくりコース・公共政策コース・国際政治経済コース・グローバルコミュニケーションコース
情社：現代社会コース・経営経済コース・情報コミュニケーションコース
人科：スポーツ健康コース・現代心理学コース・メディアデザインコース

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.9
Vol.046

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

一緒に活動する仲間に向けて

新入生にとって、SNSが改めて大事だと感じた今だからこそ、
学生委員全員で見直し、新入生に届くSNSに。

活動概要

例年通りのSNS発信の仕方を見直し、今までの活用方法を活かしながら、今年の新入生はSNSが情報源であるからこそ、今年に合った形でSNS発信しています。



POINT.1

みんなに見てもらえる工夫を

新入生へ向けての発信の中には、たくさんの工夫が見られます。Instagramでは、学生委員の活動経験や新入生へ向けての一言が書かれています。活動内容を中心に、見やすくわかりやすい、そして親しみやすい内容になっています。また、ストーリー機能を使って、企画のリマインドを行ったり、Twitterでは、Instagramの投稿を見てもらえるようにInstagramのURLを載せています。その結果、9月中旬に行われた部会見学では、Instagramを見て、学生委員会に興味を持った新入生がたくさん参加してくれました。継続的に発信をすることで、多くの新入生の心を掴むことができますね！



▲InstagramとTwitter(新入生用)それぞれのアカウントです。実際に見てみてください！

POINT.2

仲間を増やすために

SNS発信に至るまでに、学生委員全員で、この情勢にあった発信方法はどういうものなのかを改めて話し合いました。また、職員さんとも連携をし、たくさんの工夫が見られるSNS発信になりました。

[広報]



同志社生協今出川キャンパス SNSの発信

企画担当者からのコメント

工夫した点は、「新入生に会えるのを楽しみにしています！」や「Zoom交流会は私たちGIも楽しかったです！！」というように、親しみを持ってもらえるような投稿にすることと、Twitterより可視化しやすく、過去の投稿も見やすいということから、Instagramを使用しました！また、Twitterは新入生用アカウントを使用し、Instagramの投稿のURLと目に付くように表紙の写真を載せ発信しました。たくさんの人に見てもらえるようにTwitterのリツイートは定期的に行いました。
(学生委員3回生 白築)

職員の方からのコメント

コロナの影響でこれまでできていた企画が急にできなくなり当初は混乱していましたが、気持ちを切り替えて『直接でなくても知らせるために何ができるのか』ということを検討しました。YouTubeによるお店紹介や、Twitterでの様々な提案、ZOOMでの新歓企画など新しい取り組みにチャレンジしました。職員からコロナアンケートの結果を共有し、学生の実態や思いを知ってもらい今後の取り組みについて考えてもらうきっかけづくりをしました。(同志社生協 堂免専務)

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果 (目安90字)

今までのSNSの活用方法を活かしながら、今年にあったSNSを発信することができました。新入生向けの取り組みへの参加、そして新入部員獲得にもつながりました◎

●取り組みから見えた課題 (目安90字)

新入生に向けたSNSの発信だけでなく、SNS上での企画(紹介系ではないもの)をできていない状態なので、今回の工夫したことなどを活かして、活発にしていきたいです！



組合員の現状

SNSが組合員の情報源であって、例年以上にSNSを見る回数が多い



組合員の理想の姿
SNSを見て、
学生委員会に興味を持ってほしい！

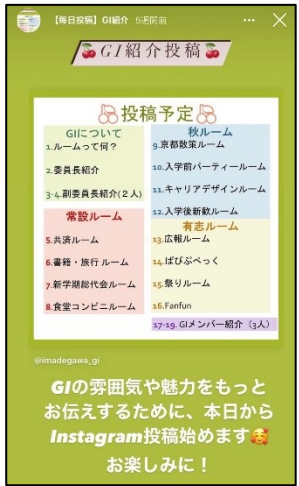
2021年度活動方針との関係性

活動方針①：生協運営

大学生協が組合員組織であることを再認識し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう

大切にしたい視点②

大学生協の良さ・魅力を周りの組合員に伝え、コミュニティを広げていきましょう



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [芦田 早詠]
Ashida.Sae@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.4.24
Vol.015
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

“伝えきる”ために大事にしたいコト！

奈教GIの新学期企画はすべて中止となってしまいましたが、今まで準備してきたものを無駄にせず形を変えて新入生に寄り添いました！

活動概要

TwitterとInstagramの質問機能を活用して新入生の相談に答えています。Twitterでは新入生の日常のお悩みや質問を受け付け、Instagramでは履修相談を行いました。質問への受け答えは今まで準備してきたものが生かされています。



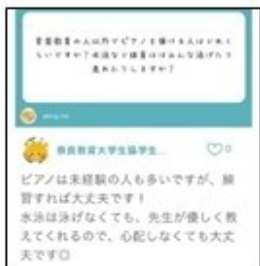
POINT.1



SNSでも大事な先輩のコト

Twitterでは主に大学生活の、Instagramでは履修関係の質問対応を“あえて分けて”行っています。その理由として、Twitterでは大学生活についての個別相談会を企画していたチームが、Instagramでは履修相談会を企画していたチームが運営しているからです。企画自体は中止となってしまいましたが、新学期活動の準備段階で得た先輩の実態や実感(コト)を大切に新入生にSNSを通して伝えていきます。つまり、それぞれの班で準備してきたものを最大限活用することで新入生の不安を軽減することができました。

また、GIが作成した時間割の組み方がわかる“履修マスター”を大学が新入生に配布してもらえることになりました。新入生からは「楽に履修が組みました！」との反応がありました😊



POINT.2

思いやりと優しさ満開

質問のお返事はとてもやさしい言葉ばかりです。先輩から「不安ですよ」「大丈夫です！」と言ってもらえると新入生はとっても安心しますね。1回生ひとりひとりの不安な気持ちに寄り添っているからこそその対応です😊

【新学期】
×
【広報】



奈良教育大学生協
SNSの取り組み

企画担当者からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日本のSNS利用者が増加しました。なかなか学校に行く事ができない今、組合員や他大学の方々、奈教を目指す受験生などたくさんの方に情報発信できたらと思います、奈良教育大学生協学生委員会公式Twitter、Instagramを作成しました。また、この秋新たにGmailも作成しました。TwitterやInstagramは、お陰様でたくさんの方々にフォローしていただき、今まで以上に情報発信ができています。この秋に作成したGmailも工夫しながら活用していければいいなと思います。(学生副委員長 倉石)



職員の方からのコメント

新型コロナウイルス感染症の感染防止で、直接学生と接することが出来なくなった時に、真っ先に「直接会えなくても、学生に寄り添い、支えていかないといけない！」と思いました。特に新入生は分からないことが多く、困っていると思いました。そんな時に学生委員会がSNSを活用した情報発信を積極的に行ってくれたことは、本当に心強かったです。新学期のSNS発信は、正確な情報を丁寧に発信することにこだわり、一緒に発信内容を相談しながら進めてきました。そのことはきっと新入生の支えになったと思っています。(専務理事 石間)



取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
SNSを始めたことで多くの人に学委の活動内容を知ってもらえるようになった。また、質問箱を設置したことで新入生を主に学生生活の悩みや不安、相談にのることができた。これからもたくさんの情報発信をしようと思う。
- 取り組みから見えた課題
今年度活動してきて、組合員の中にもSNSを利用していない人がいることがわかった。これから受験生に向けた新学期活動に突入するが、もちろん受験生でSNSを見ている人は少ない。だから奈良教育大学生協学生委員会公式ホームページも作成していこうと思う。多くの人にいろいろな形で見てもらえるよう、工夫していきたい。



組合員の現状
この春入学した新入生は、友達や先輩との関わりがないため、学内の情報が入ってこない。



組合員の理想の姿
私たちのSNSを見ることで、学校や生協学生委員会についてたくさん知ってほしい。

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし
組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう

大切にしたい視点②
日常生活・暮らしについて相談し合える仲間を作るための取り組みを増やしましょう



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [菊池 愛海]
Kikuchi.Manami@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.5.8
Vol.016

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

情報と安心をたくさんの 新入生に届けたい！

昨今の情勢で不安を抱えている新入生が多いからこそ、この状況でもできることを考え、より新入生に寄り添った形で情報を届けました！

活動概要

組織部LIVESTREAM#1
日時○2020年4月26日(日)22:00~22:30
媒体○Periscope
内容○#1では教科書販売について大学生協で行っていることや学生の実態をLive配信で紹介。アーカイブが残っているのだから見ることが可能。



POINT.1



たくさんの新入生に生活実態に基づいた情報を届ける！

組織部として活動しているからこそ知っている大学生協の情報や、大学の先輩だからこそ知っている情報を届けることで、大学生協の魅力や大学生活の実態を新入生に伝えることができました！

Liveは「Periscope」という媒体を使いました。拡散力のあるTwitterからそのまま見ることができるので、簡単に閲覧することができ、よりたくさんの新入生のもとへ情報を届けることができました！

さらにアーカイブを残しているので見逃してしまった新入生もいつでも確認することができます。#1のアーカイブ配信は[こちら](#)！

POINT.2

安心を新入生に届ける！

人が話している姿が見える動画のほうが新入生は安心して見ることができると考え、3DCGを使用したLive配信をしました！

また、#1は教科書販売が始まる前日だったため、そのときに新入生が不安に思っているであろうことに関連する情報を届けることで、新入生に寄り添った配信を行うことができました！

今後も、新入生に寄り添った配信をしていく予定です！



[新学期]



大阪府立大学生協
組織部LIVESTREAM

企画担当者からのコメント

3月までは職員の方々と直にコミュニケーションしながら新学期の代替活動を行っていましたが、4月に入り大学入構禁止になったことで本格的に自分たちの手元にあるものだけでできることを考えなくてはならない状況になりました。そのうえで新入生はもちろん上回生にも新しい仕組み（教科書オンライン販売等）を知って利用してもらうために、学生の目に入りやすい形かつ実際に利用する学生としての声を届けやすい形での広報活動を考え企画しました。

職員の方からのコメント

リアルに新入生・保護者の皆さんとコミュニケーションが取れないという未曾有の状況の中で、ぶれずに「新入生・保護者に情報を伝えないと！」と思ってくれたことが良かったです。結果的に、情報を伝える方法はたくさんあったんだと気づくことができ、幅が広がったのかもしれない。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生もとい学生の不安を解消できた。またTwitterで発信する情報に今までよりも目を向けてもらえるきっかけにもなり、結果として市大生協の知名度向上にもつながった。

●取り組みから見えた課題

新学期の枠組みとしては独立したものになってしまったので、これより前に行っていたYouTubeの動画投稿と合わせた企画としてできれば、拡散力の向上や他部門との連携につながったかもしれない。



組合員の現状
新入生は自分が属する大学生協というものがなにものなのかわからない。



組合員の理想の姿
大学生協を知り、それを十分に利用することで理想の大学生活に近づける。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう

LIVESTREAMのアーカイブは[こちら](#)！↓

- [#1](#)
- [#2](#)
- [#2.5](#)
- [#3](#)
- [#4](#)
- [#5](#)



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [永江 孝太郎]
Nagae.Koutarou@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2021.1.20
Vol.065

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

みんなで協力して不安解消

コロナの影響を受けた組員、中でも新入生のことをいち早く考え、学生委員会だけでなく、大学や他のサークルと協力して1年生を迎えていました！

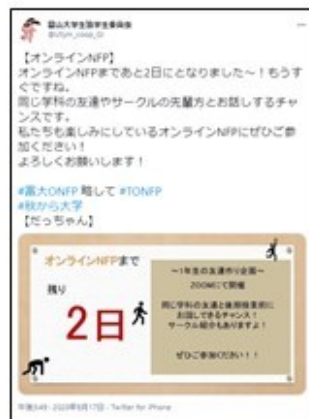
活動概要

日程	9/19(土),20(日),21(月),22(火),23(水)の5日間
場所	ZOOMにて開催
内容	80~100人規模で学部学科を分け、アイスブレイクや雑談、サークル紹介を実施。
参加対象	現1年生、学生委員会、各サークルの代表者

POINT.1

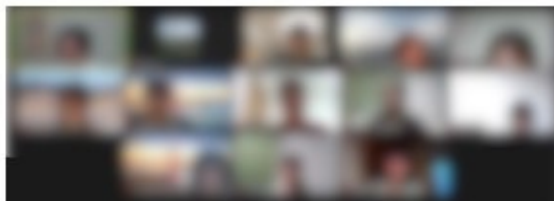
1人でも多くの新入生に友達ができるように

コロナの影響を受けて、交流イベントや新歓ができなかった今年の4月。そこで、自粛期間で友達のできていない新入生が交友関係を作れるように、例年対面でイベントを行っている4月の中頃からオンラインイベントの企画に動き出しました。他サークルの代表者とつながるLINEグループを作ったり、1人でも多くの新入生に参加してもらおうと連日Twitterで参加を呼び掛けたり、申し込み方法もGoogleフォーム、SNSのDM、ラインのオープンチャットなど多くの媒体を駆使して、急に個人情報を引き出さないよう工夫したりしていました。



POINT.2

みんなの協力を得て！



富山大学の新学期友達作りイベントは例年、他のサークルから代表者を募って、GLとして協力してもらいながら、サークルの勧誘をしてもらうのが魅力です。今年是对面で開催できませんでしたが、この繋がりを断つことなく、オンラインでも連絡を取りながら企画されました。また、大学にもイベントの告知をもらうなど、連携によって生み出されたイベントでした。

[新学期]
×
[健康と安全]



富山大学生協 オンラインNew Face Party

企画担当者からのコメント

毎年、春に行われているNew Face Partyが今年を行うことができず1年生が交流できる企画ができていなかったことからこの企画に至りました。レクをブレイクアウトルームで行うことで、**少人数で交流が行えるように工夫しました。**また、**サークルの人にGLや、サービスブースをしていただきました。**課題としては、**1年生への情報周知が足りなかった点や、1年生同士の交流を促進できなかった点**があげられます。

<タイムスケジュール>

・オープニング	13:00~13:05
・アイスブレイク	13:05~14:00
・テーマ別雑談	14:00~15:00
・休憩	15:00~15:15
・サークル紹介	15:15~17:15
・エンディング	~17:30

オンラインNFPまで
残り

17日

・Information

開催は9/19(土)~9/23(水)
(学部学科ごとに日が違います。
ご注意ください。)

参加申し込みはまだ**受付中!!**

▲1年生受付は**9/16(水)**まで

サークル受付は**9/8(火)**まで
(少し伸ばしました)

共に奮ってご参加ください!
友達との参加も大歓迎です

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

初めてのオンラインの企画であり、対面で思うように打ち合わせできない中で**学内サークルのLINEグループでつながり、職員と相談しながら大学の学務課にも広報をお願い**するなど、他団体と協力しながら成し遂げたことは大学内の団結にもつながるこの企画の大きな成果だと考える。また、**情報の周知(広報)や個人情報の管理にも気をつけて**おり、今後のオンライン企画にもつながる活動となった。

●取り組みから見えた課題

前例がないため当日の様子がなかなか想像できず、準備が難しかったようだ。今回の参加人数や運営側の動きなどをしっかり引継ぎ、次年度に活かしていくと、さらにパワーアップしていけるだろう。また、今年にはコロナの影響を受けて急遽、企画の練り直しを迫られたが、次年度は早いうちから在校生・新入生への周知を行い、より多くの人に参加してもらおうことで1人でも多くの新入生に寄り添い、幅広い視点での企画ができるのではないだろうか。



2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組員同士のつながりをつくりましょう。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [坪川 穂香]
Tsubokawa.Honoka@univ.coop



見えなくても丁寧な対応が出来ます

新型コロナウイルスの影響で新歓企画は中止になってしまいましたが、様々なSNSを活用して新入生一人ひとりに丁寧に寄り添い、不安をわくわくに変えるお手伝いをしています！

活動概要

龍谷大学生協では新入生に向けた情報発信のコンテンツとして、「Twitter・LINE公式・生協HP・電話対応」を設けています。

Twitter（新入生アカウント）：約1,500フォロワー
LINE公式：約4,700人の登録者数(新入生の約50%)



POINT.1



Twitterの質問箱

龍谷大学深草キャンパスには普段のTwitterアカウントとは別で、**新入生用のアカウント**があります。Twitterの質問箱を活用して、**様々な質問が気軽に寄せられている**ようです！

来た質問に対しては、学生委員が自分の経験に基づき**一つひとつ丁寧に返信**しています。丁寧に回答し続けた結果、アンケートでは一晩で1,000人が回答してくれるなどの成果が上がっています。**新学期活動の目的である「一人ひとりから信頼を」を体現出来ています！**

POINT.2

LINE公式の取り組み

LINE公式も活用して新入生への対応をしています。ここでは大学の発信した情報を再度連絡したり、生協が行っているパソコンの販売・相談などを行っています。情報が発信されるごとにマメに更新されています。

また新入生からの質問も多く寄せられていて、専務や上回生サポーターが**一人ひとり丁寧に返信しています！**生協だけで答えられないような学事についての質問では大学のHPを紹介するなどして対応しています。

Twitterの質問箱と違い、個人間でのやり取りになるので**しっかり相手との会話履歴が残ります。**そのことで一方的に発信するだけでなく**双方向で繋がっていると感じることが出来ます！**



[新学期]

龍谷大学生協 SNSを中心とした新入生対応

企画担当者からのコメント

SNS担当で大切にしていたことは、「公式感のある使い方をしない」です。必要な時に開いて投稿をするのではなく普段から時間のある時に開いてフォロワーさんのツイートを見ていました。そうすることで組合員さんの今のニーズを把握することができていたと感じています。また食堂などのツイッターを通知オンでフォローし、食堂のメニューなどにリツイートすることで、このアカウントをフォローしておけばたくさんの情報を得られる！と思ってもらえるように工夫しました。ツイートを固くなりすぎず、親近感をわいてもらえるような文章にすることで質問箱に質問しやすく、DMにも来てもらいやすくすることを工夫しました。



職員の方からのコメント

前年までは職員もTwitterを毎年立ち上げていましたが、やはりみんな使うのはLINEだなとLINE公式を始めました。コロナ禍で急な変更なども多く、利用者にとっても利便性が高いと思います。また、商業的な案内は控え目に、利用者との信頼関係の獲得を目標としているため、ブロックも少ないです。4月緊急アンケートはこのLINEでお願いしたところ、一晩で千人以上の回答が集まりました。信頼を構築してきたことの表れでもあると思って、本当にうれしく思っています。LINEはつながりが他のSNSより太いと思いますし、こういう状況だからこそ、人と人とのつながりを大切にするため、何が出来るか来年以降も考えていきたいですね。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

フォロワーさんからのリプライや中の人に向けたツイート、質問箱で感謝のメッセージ、リストに追加してもらったり、生協の活動に調味を持ってくださったりしました。またイベント前の宣伝中から楽しまされているツイートも見かけました。組合員さんに届いているのを感じました。

●取り組みから見えた課題

SNS上なのでSNSをしていない方には届かないのが大きい課題だと思います。ありがたいことにたくさんの質問がきましたが、「自分で調べることができるもの」についても質問が来て、調べずぐ聞いてしまうことで組合員さんの向上心の低下が課題になりました。



組合員の現状

オンライン授業によりわからないことを聞く人がいない。学校に行く日が少ないので、生協のイベントを知る機会が少ない。



組合員の理想の姿
わからないことをわかるに変えられる。
生協について知っている。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。

龍谷大学生協 ミニ入学準備説明会

基本データ

日時：2020/03/20 10:00-18:30

場所：龍谷大学深草C 22号館食堂

運営体制：

職員6名 | 学生委員6名 | 上回生サポーター8名

参加者数：約140組

目的/概要

- ①新入生の不安を解消をする。
 - ②龍谷大生協として一人一人から信頼を得る。
 - ③関わる学生・職員が成長する。
- 以上3点を目的とし、コロナの影響で縮小版の入学準備説明会を行った。

コンテンツ

- ・全体説明(70分)
 - ・学部別相談会(50分)
 - ・ブース案内
- 以上を1タームとし、1日で計7ターム行った。



企画担当者からのコメント

コロナウイルスで状況が刻一刻と変化している中、専務と上回生サポーター長との連携ができたからこそ開催することができ、参加者の皆様に満足してもらえる説明会ができたと思います。

龍谷大学の学生委員は人数が多いのですが、感染対策のため運営側の人数も減らさないといけない現状がありました。そのため、次年度にむけて後輩たちを少しでも多く起用するよう心掛けました。

今後は学生委員の役割とゆとりのある時間配分が課題となるでしょう。

職員の方からのコメント

感染拡大を受け、一旦説明会を休止しましたが、逆に不安も大きくなっていました。もともと長年個別相談をされていた西南を上サポと視察していたこともあり、新入生や保護者の声に応えるため、回数が増えて負担も増すのですが感染対策を行った上でミニ説明会を開催することとしました。3月の3連休は1日7ターム×3=21タームというハードスケジュールで、終わったら全員がへとへとでしたが、参加者からは逆にゆっくり話が聞けて良かったと満足度は上がった状況でした。2021年度以降もこの経験を活かし、一人ひとりへ寄り添った新学期活動へつなげていきたいと考えています(*´▽`*)

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

1回当たりの参加人数を減らしたものの、回転を多くしたため多くの参加者に参加していただき、3月20日の満足度は約80%でした。

●取り組みから見た課題

タイムスケジュールが細かく、時間に余裕がないことです。

01 実態を持った説明会で生協への信頼獲得

コトモノ提案

前年度に新入生に向けて行った新入生ヒアリングや4回生の全学部を対象に行ったアンケートを基にモノの提案をしていました。このアンケートは学生委員内だけでなく、様々な人に取っていることから龍谷大学生の実態をしっかり掴んでいます！また、学部別相談会では一組一組丁寧に話を聞いて、一人一人に寄り添った提案だと感じました。短縮ではありましたが参加者から生協への信頼を得ることが出来たのではないのでしょうか。



個別相談などを設け、一人一人に丁寧に寄り添っている説明会でした！

02 実感に想いをのせる

一人一人の「伝えたい」が詰まっている

全体説明にも学部別相談会にも言えることですが、運営側のみならず「自分の大学生活実感話す」だけでなく「自分の大学生活実感から新入生のみさんにはこうなってほしい」まで話せていました。ただ実感話すだけでなく実感から来る「伝えたい想い」まで話すことで、大学生協ならではの人と人との繋がりを感じることが出来ました。

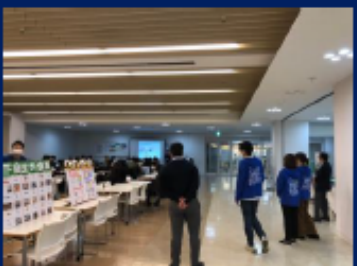


「私は〇〇だから、みんなにはこうなってほしい」と言えるのってステキですね。

03 この時期だからこそ先輩の力を

上回生サポーター

龍谷大生協には上回生サポーター（以下、上サポ）というモノ提案に特化した学生委員経験のある上回生がいます。今回は短縮版ということもあり、上サポが主に運営している説明会となっていました。もうすぐ4回生だからこそ伝えられる経験談や今まで培ってきた話術で、時間は短いながらも参加者の不安を期待に変えるために寄り添っていました。



参加者数に対して運営人数が少なかったため、みんなですすめあいながら運営していました！



組合員の現状
大学生生活に期待と不安が入り混じった状態



組合員の理想の姿
不安を解消し、期待に胸が膨らむ状態

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。



印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.9
Vol.047

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

大学で経験したことをどう活かしていくかというキャリア形成

コロナ禍の状況で、就活に不安を感じている3回生が多いことを踏まえて、就活の終わった4回生が「GIをどのように就活に活かせるか」についてのセミナーを主催しました。

活動概要

日時：2020年7月4日（土）
18:00～(Zoom)

企画内容：社会人である学生委員の先輩から、その話を聞き、その後3回生のセルフプランディングをし、就活スケジュールを立てました。

到達目標	
2回生	自分を活かせるGIの経験を知る
3回生	GIでの経験を元に自分の魅力について理解する

POINT.1

持続可能なコミュニティを形成していく

現在社会人として人材企業で働いている方、公務員として勤務している方、2人の学生委員の先輩を呼んで、今の就活状況についての話や、働いてみての実感について話していただきました。土日であったにも関わらず、社会人の先輩が来てくれるのは、今までの繋がりがあったからこそのものですね。

また、今までの学生委員会の経験をどのように就活に活かしていくかについても実際に就活を経験した4回生の話を基に考えました。



POINT.2

大学卒業後のキャリアを考える

新入生に向けてのビジョンナビゲーションセミナーでは、大学でどんなことができるかというのがメインでした。しかし今回の3回生を対象にしたセミナーでは、大学での学びや経験を就職活動や卒業後の進路でどのように活かしていくかということに目を向けて考えました。

新しい視点であったと共に、学生委員を経験して良さを実感している4回生やOBOGだからこそ伝えられる内容が盛りだくさんでした。



【キャリア形成支援】



龍谷大学生協
就活ゼミナー

(学生委員会向け)

企画担当者からのコメント

・工夫したこと
・ソケンでいう気づきの部分
・取り組みの課題だと思えるところ
学生委員の先輩ということで、企画の打ち合わせ等もスムーズに行えました！また、同じ学生委員会のOBや4回生どう就活で学生委員の活動が活かされたかなどを話すということで、説得力や聞きやすい工夫ができたかなと思っています。

職員の方からのコメント

2年前まで龍大生協の学生委員は2年で卒業、と言った形で3回生以上との関りがほとんどなくなってしまっていた。それは非常に残念で、任期を伸ばしてもらったり上回生企画を独自でやったらいいやん！とか言い続けているうちにこういった上回生ならではの視点に基づいた企画が立ち上がるようになっていました。

この企画は職員が全然関わらなかったのですが、それでもちゃんと運営できていて、嬉しいようなちょっと寂しいような・・・(苦笑)でも感動してます！

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
OBの方からのリアルな就活事情や4年生から実際の就活体験を話すことで、「就活で活かすことのできる学生委員会の活動のやりがいや価値」を自分ごとに落とし込むことが出来たのかなと思います
- 取り組みから見えた課題
本来なら一般組合員に向けてや、参加者の変化をおって活動したかったのですが、OBの方の都合もあり継続して活動することができなかったのが課題です。



組合員の現状

コロナ禍で将来が心配で不透明。大学側も他の対応に追われていて、キャリアまで手が回っていない。



組合員の理想の姿

コロナ禍の影響によって変わった就活の現状を理解する。「ガクチカ」の項目を埋めやすくする！

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。



今回は学生委員会内で行ったセミナーでしたが、次は組合員に向けても行いたいですね！
ブロック学生事務局 [谷村 優真乃]
Tanimura.Yukino@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.8.8
Vol.034

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

新入生にとって頼れるおねえさん。

奈良女子大学生協学生委員会WINDYは新型コロナウイルスの影響により、思うように新学期活動は進みませんでした。全力で新入生をサポートしようとメンバーは試行錯誤しながら活動をしていました！

活動概要

学生委員会WINDY（以下、WINDY）は今年度の新学期活動では臨機応変に新入生のサポートを行っていました。入学説明会は動画でUPし、SNSで質問を受け付けたり、生協からのお知らせを発信したりしました！多くの新入生がWINDYのサポートのおかげで新学期のスタートダッシュを切っています！



HPでの説明会動画のスクリーンショット

POINT.1

学務課と協同し、受講相談会！

WINDYは学務課との協同でオンラインの受講相談会を行いました。当初、学生が学内や教室で集まることが禁止であることから開催は中止とされていましたが、毎年WINDYが実施していたということから学務課からの相談があり開催が決まりました。学務課からの依頼であったので、入学式の入学資料配布のタイミングでLINEをWINDYの担当メンバーと新入生全員が交換し、**各学部のグループLINE**を作成しました。特別に教室を借り、教室から学生が**グループLINEのライブ配信機能**を利用しての相談会を行いました。グループLINEのコメントから直接相談に応え、新入生の疑問を解消しました。**臨機応変な学校の対応に素早く応え、たくさんの新入生のサポート**を行うことができました！

また、受講相談会のために作成したLINEグループは新入生のコミュニティの場にも活用されています！離れていても、新入生のコミュニティを形成することができました！

POINT.2

SNSの超丁寧な活用がサイキョ～！！

WINDYは新入生と直接会う機会が少なく、入学に関する疑問などを解消する目的で質問箱を開設しました。たくさんの質問が寄せられ、**一つ一つ丁寧な返答**をしていました。時には専務や先輩などWINDY以外の方の返答もありました。組合員みなでたすけあい、**新入生の大学生活をサポート**しています。



似た質問をTwitterのモーメントにまとめて蓄積しています (@windy_shitsumon)



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [金ヶ江 七海]
Kanagae.Nanami@univ.coop

【新学期】

×

【他団体・地域連携】



奈良女子大学生協
学生委員会
新学期活動

委員長からのコメント

一時は開催しない方向で話が進んでいましたが、大学からの声かけがあり、全面協力のもと、受講相談会を開催することにしました。情勢が刻一刻と変化する中、学生委員それぞれが迅速かつ柔軟に協力した結果、多くの新入生に参加してもらうことができ、一緒に履修を組むことができました。「新入生の履修への不安を和らげたい」という、強い思いがあったからこそ、実現した企画です

職員の方からのコメント

今回の取り組みはLINELiveという学生に身近なやり方でどんな新入生に対してもこの取り組みを広げることができるように素早く、工夫をしながらやり切った点は本当に素晴らしかったです。学務課からの依頼ということもありましたがWINDY自身で安全に且つ正確に情報を届けられる環境を整えた点も評価できると思います。グループLINEの作成に当たってはそれ以降のコロナ禍での生協の発信にもつながりました。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新型コロナウイルスの感染拡大により混乱している新入生に対して学生生活の基盤である授業の履修情報を迅速に提供し、サポートができた事に関して大きな成果だと考えられます。これまでの大学生協への信頼があったからこそこの取り組みでした。その期待にしっかりと応え、大学との絆をさらに深めることができたことも成果だと考えられます。

●取り組みから見えた課題

来年度以降の受講相談会の形式をしっかりと考える必要があります。情勢に合わせながら大学と新入生のニーズを抑えて取り組んでいきたいですね。



組合員の現状

一年生なので授業の履修の方法やとるべき授業があいまいで分からない…



組合員の理想の姿

授業の履修を自らの判断で組み、授業を受ける環境が整う。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。

受講相談会のお知らせ

新入生のみならず!!大学の履修は高校とは大きく違い、自分の時間割を組まなければならない!!
そこで、私たちWINDYがみなさんの履修への疑問にお応え出来るように、**無料・参加費ともに不要!!**みなさんの参加をお待ちします!!

受付開始時間は、
受付時間の10分前がベストです。

〈女学部〉

・A~D組 4月6日(月) 13:30~14:30 @N202

・E~H組 4月6日(月) 15:00~16:00 @N202

△A~D組でも教育専修プログラムガイダンスを受けては、15:00~16:00に
参加してください。

〈理学部〉

・数物科学科 4月6日(月) 13:30~14:30 @G101

・化学・物理環境学科 4月7日(火) 11:00~12:00 @G201

〈生活環境学部〉

・食物栄養学科 4月8日(水) 10:00~11:00 @D120

・心身健康学科 4月9日(木) 10:00~11:00 @G202

・衣環境学コース 4月9日(水) 10:00~11:00 @G202

・生活情報通信学コース 4月9日(木) 10:00~11:00 @G203

・生活文化学科 4月8日(水) 10:00~11:00 @E201

・生活文化学科 4月8日(水) 10:00~11:00 @E107

奈良女子大学生協学生委員会WINDY with 学務課

twitterリンクです【[👉](#)】

大学との信頼関係から生まれた！

奈良教育大学生協の大学との信頼関係はどこから生まれているのでしょうか？そこには学生委員の想いがありました！

活動概要

奈良教育大学生協学生委員会（以下、学委）は、大学の教授からの依頼を受け後期の履修相談会を4日間オンラインで開催しました。オンラインシステムは大学から提供され、学生委員会は履修相談をするという役割分担がなされていました。



POINT.1

“伝えきった”履修相談会！

情宣については学委のSNSに力を入れ毎日更新をしていました。SNSをしていない人のために大学に頼み、全学生にメールで案内をしてもらいました。

また、履修相談会を行うにあたって大学と学生の会議を行いました。履修は毎年少しずつ変化するため、学生委員ですべての専修(学科)の1回生後期の履修を実際に組んでいました。この努力によって、自分たちの実感はもちろん、1回生の実感も合わせて“伝えきる”ことができています。

学生委員会は毎年春に「なんでも相談会」という履修相談会を行っています。今年は中止になりながらも履修の組み方がよくわかる履修マスターを作成し、1回生に喜ばれました。今回もオンラインでの開催でした。形を変えながらも1回生に想いをもって取り組むことができ、大学との信頼関係もさらに築くことができました。



POINT.2

多くの組合員に広がりを見せる！

当初、参加対象を1回生にしていたが、SNSやメールをみた2回生の「1回生以上も参加できるか？」という声をしっかりと拾い、参加者の幅を広げました。これも学生委員会の企画への信頼がある成果ですね！



[新学期]

×

[ともしつくる]

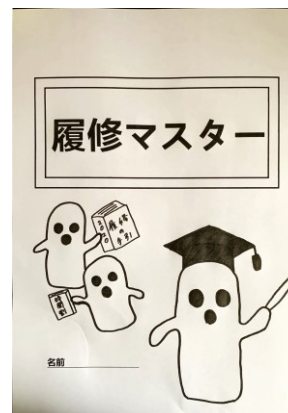


奈良教育大学生協

履修相談会(後期)

企画担当者からのコメント

奈良教育大学は名前の通り教員養成のための学校なので、教員免許を取得するための必修授業が多くあります。特に1回生は必修授業が多いので、その必修授業を取りこぼさないように、全専修の履修を事前に組み、正しい情報を1回生に提供できるようにしました。履修以外の相談も受け付けることで相談会に参加しやすい形を取りましたが、同時に1回生の現状も見えてきて、それらを把握したうえで企画できればよりよいものになるのではないかと、思いました。(副学生委員長 柿平)



職員の方からのコメント

必修授業の多い教育大では、履修計画をしっかり練る必要があり先輩から履修の「ノウハウ」を教わることも大事です。毎年4月の履修相談会は、新入生にとっての重要な情報源であり、新生活への安心を得る場でもありましたが、今年はそれができないまま前期が終わってしまいました。後期前のオンライン相談会は、不安を抱えていた1回生にとってとても貴重な機会になったと思います。今後も学生に寄り添う活動をよろしく願います。(奈良教育大学職員)

履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修
09:00-10:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
10:00-11:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
11:00-12:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
13:00-14:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
14:00-15:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
15:00-16:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
16:00-17:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
17:00-18:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
18:00-19:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
19:00-20:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
20:00-21:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
21:00-22:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
22:00-23:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会
23:00-24:00	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会	履修相談会

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果 (目安90字)

この取り組みを通して、参加してくれた1回生は履修に対しての不安もなくなり、自信をもって後期を迎えられたと思います。また、来年度以降の履修に関しても各自で組めるようになってきていると思います。

●取り組みから見えた課題 (目安90字)

今回参加してくれた1回生は、全体で見ると多くはありませんでした。そのため、来年度行う履修相談会では、今回参加できなかった1回生に対しても何かしらの対応をできるように準備していきたいと考えています。



組合員の現状
授業や履修に関しての不安が
たくさん。。



組合員の理想の姿
後期開始前に不安がなくなった！
後期も頑張ろう！

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実地を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう。

大切にしたい視点③

大学との連携を強化し、組合員が学び成長できる取り組みをより発展させましょう。

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.11.11
Vol.052

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

みんなの悩みをみんなで解決 オンライン合同説明会☆

日常的に交流する他団体同士で、新入生へ向けて委員会活動を知ってもらう機会を設けました。

活動概要

- 【内容】学内の委員会と協力し、オンラインで新入生へ向けて活動を紹介する場を設けた
- 【日時】6月13日
- 【媒体】Google Meet
- 【参加者】30人



POINT.1

みんなで作る説明会 学生委員会の特徴はなに？

大阪電気通信大学生協では、普段から学内の委員会同士が協力し、企画を実行しています。今回、新入部員獲得に悩んでいるのは学生委員会だけではないこともあり、他団体と協力してオンラインで学生委員会の説明会を行いました！

他団体と協力することから、まず各委員会の特徴を工夫して伝えるために、生協学生委員会の強みや特色を分析しました◎

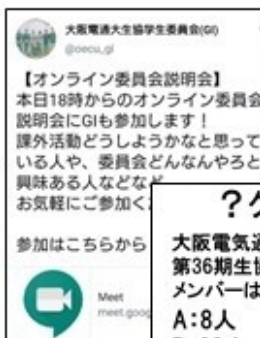
それにより、課外活動についてあまり知らない新入生が、短い時間でそれぞれの委員会の良いところを知ることができました！*



POINT.2

新入生の立場になって

より多くの新入生に参加してもらうために、使用する媒体や質疑応答の方法について模索しました。使用する媒体は、「授業で使うことが多いMeetを使う方が良いんじゃないか」であったり、質疑応答は「チャットを活用すると、新入生の参加のハードルが下がるんじゃないか」というように、新入生の立場を考慮して考えることができていました◎



?クイズ?

大阪電気通信大学
第36期生協学生委員会の
メンバーは何人でしょうか？
A:8人
B:23人
C:103人

[新学期]



大阪電気通信大学生協

合同委員会説明会

企画担当者からのコメント

慣れないリモートでの企画でしたが、学内の他団体と相談して参加しやすい形式を考えました。当日も他団体と協力し、多くの新入生が課外活動に興味を持つ機会を作ることができました。また、各団体のSNSを通して合同委員会説明会の宣伝をおこない、なるべく多くの新入生に情報が回るようにもしました。

職員の方からのコメント

生協学生委員会は、当然ですが大学公認の委員会ではありませんが、普段から様々な活動を学生自治会や大学祭実行委員会などの委員会と一緒に活動を行っている関係で、説明会に参加させてもらっています。遠隔授業メインのタイミングで基本的に大学に来ることができない中、新入生の不安の解消と、課外活動について知らせる活動がなんとかできたと思います。後期もフル登校にはなっていないので、引き続いて何かできると思っています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

学内の他団体と共に作り上げることで、多くの参加者に来てもらうことができ、学生委員会にも数名入ってくれる成果が得られた。後日Twitterにて新入生の相談も受け付けることができた。

●取り組みから見た課題

Twitterでの情宣が主だったため、Twitterをしている人でないと情報がいかないこと。また、全団体が多くの新入部員を獲得できたわけではなく、なかなか目標を達成することができなかった。



組合員の現状

新入生が大学の学生や先輩と関わる機会がない。



組合員の理想の姿

学内団体との交流をきっかけに、不安や悩みを先輩に打ち明けられる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [乾 遥可]
Inui.Haruka@univ.coop

新入生に寄り添う姿勢を大事に！

新入生にとって困難な履修登録について直接先輩に相談できる場がなくなってしまった現状から、オンラインでの相談会を始めました！

活動概要

日時：4月21日から
媒体：LINEのオープンチャット
参加者数：22人
内容：新入生にオープンチャットのグループに入ってもらって、GIのメンバーが質問に答えたり、履修登録についてのアドバイスをしたりした。

POINT.1

新入生に寄り添った対応！

新入生は履修登録の仕方やおすすめの授業もわからない状態で困っているという現状を受けて、オープンチャットに履修の際に参考になる資料をあげていました。（昨年授業を受けた学生にGoogleフォームでとったアンケート結果や時間割の一覧など）

質問箱でも履修のことについては答えています。質問者と回答者がオープンチャットではわかる分、ひとりひとりの悩みや不安に寄り添った対応とできていました。新入生もたくさん質問して不安解消ができていたようです！

POINT.2

自分の経験をもとに

新入生には履修の手引きが配られるのですが、その履修の手引きの見方を解説していました。授業の中身についてはほかの団体も情報は出してくれているけれど、基本的な履修の手引きの理解が難しいだろうなという想いから作成したそうです。

自分が新入生だった時になにが大変だったか、どういうところに困るだろうかという想いから行動して新入生に伝えているのが素敵ですね！



[新学期]



神戸市外国語大学生協 オープンチャットでの 履修相談

企画担当者からのコメント

例年のように対面による相談ができない分、これまでに何世代もかけて蓄えてきた授業の情報などを最大限に活かすことを目指しました。オープンチャットという形で行うことで、匿名かつ素早い質疑応答ができたと思います。

情報の量や質にはかなりの自信がりましたが、SNS等による告知が遅くなってしまい、より多くの新入生に乗ることができませんでした。今後はより多くの声に応えられるよう取り組んでいきたいと思っています。

職員の方からのコメント

緊急事態宣言が発出され、新入生が一番不安な時期に非常にタイムリーに実施できた企画だったと思います。先輩の実体験に基づく、きめ細かいアドバイスができるのも大学生協の強みだと思います。

新型コロナの影響が続き、学校に来る機会が少ない中、まだまだ不安な1年生がたくさんいるようです。引き続き、組合員に寄り添った企画を一緒に実施してバックアップしていきたいと思っています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生の不安に先輩としての経験や実感を大切にしながら、一人一人に親身になって寄り添った対応ができていたこと。

●取り組みから見えた課題

履修相談のオープンチャットということだったので、どうしても履修登録の間だけでつながりが終わってしまいました。その後も1年生が困ったことや不安なことを継続して相談できる場として活用できれば、より組合員とつながりを持てたのかなと思います。



組合員の現状

入学したてで、不安や疑問がたくさんあって、どうすればいいかわからない。



組合員の理想の姿

不安が解消されて、充実した大学生活を送れるようになる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。



大阪樟蔭女子大学生協 保護者説明会

基本データ

日時：2020/02/09 10:00-14:30

場所：翔空館

運営体制：

職員2名 | 学生委員20名 (OGも含む)

参加者数：約110名

目的/概要

この企画は、入学前の新入生・保護者の方々の不安解消を目的に行われました。

説明会・キャンパスツアー・ブース見学を通して、入学前の準備をサポートしました。

コンテンツ

- ・大学生活や生協についての説明会
- ・学部別のキャンパスツアー
- ・食堂利用体験
- ・ブース見学

01 現役学生委員・OG・職員さん みんなでつくる保護説

それぞれの視点や経験を最大限に活かす

1回生は去年の自分を思い出しながら実体験に基づくアドバイスをし、2回生は運営の中心として周りを引っ張りながら、しっかりと学生目線の意見を提供していました。OGは専門的な授業内容や就活などの話で学生委員をカバーし、職員さんは長年の経験や事業面の知識を用いて、保護者の方への的確なアドバイスをしていました。

それぞれの強みを活かして、みんなで新入生を迎えようとしている姿勢が素晴らしいです◎



初日でしたが、臨機応変に対応していました。それぞれが自分にできることを探す姿勢が素敵でした！

02 新入生・保護者の方が 自分事として考えやすい説明

「説明」は学生自身のことばで

新入生・保護者にとって馴染みの薄い大学生協についての提案は、オリジナルの紙芝居を用いて行いました。各種サービスが**必要となる状況を聞き手が想像できるように、自身の大学生活での出来事などを織り交ぜながら説明**していました。参加した保護者の方からは「パンフレットだけじゃ分からなかった学生の意見が聞いて良かった」という声もありました。



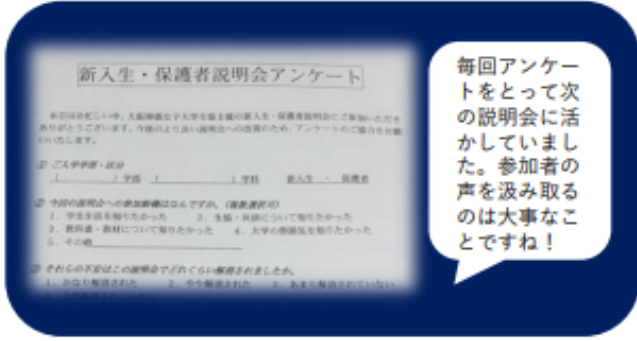
学部ごとに少人数で説明を行いました。同じ紙芝居でも、話し手の個性が出ていてよかったです◎

03 次を見据えた みんなの成長のための反省会

よりよい保護説のために何度も話し合う

樟蔭の保護者説明会は計5回行われます。常に次を意識して何度も話し合い、改善を重ねていたのが印象的でした！個人の反省点はお互いにアドバイスし、全体の反省点はみんなで意見を出し合い試行錯誤していました。

また反省会において、改善点だけでなく良かった点や頑張った点を挙げて、お互いを高め合っていました◎



毎回アンケートをとって次の説明会に活かしていました。参加者の声を汲み取るのは大事なことです！

企画担当者からのコメント

保護者説明会では、学生生活の説明やキャンパスツアー・教材展示・4回生による大学生活4年間のお話・振り返り紙芝居等内容が盛りだくさんでした。

保護者説明会のプログラムが終わり、保護者と参加していた新入生が「私たちのために内容を考えたり準備してくれてありがとうございました」と声をかけてくれました。新入生の不安を解消できるよう皆で考え準備したので、不安を解消し大学生活を楽しみに思っ笑顔で帰る姿を見ることが出来て良かったです。



職員の方からのコメント

代表学生委員数名と店長で打ち合わせを重ねた説明会は、「学生主体」で、新入生にとっては、ご自身のキャンパスライフを、保護者様にとっても娘様の4年間をイメージしやすくなっていると思います。学生委員自身も、新入生から「かっこいい、あこがれの先輩」とみてもらえるようないきいきとしていた姿を発揮し、私もうれしく感じたものです。本年のテーマを「楽しみが増える新学期」としましたが、新入生にとっても学生委員にとってもまさにそんな説明会になったのではと感じています。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

1~4回生がそれぞれの視点で大学生活や大学生協の説明を行うことで、漠然とした不安を抱えていた新入生や保護者の方も入学前から4年間のキャンパスライフを自分事としてイメージしやすくなったと思います。

●取り組みから見た課題

保護者説明会に参加できなかった人は先輩からの大学生活の話や大学生協の説明を聞く機会のないままキャンパスライフが始まります。参加できなかった組合員にも何かしら事後アプローチができるとよりよくなると思います☆



組合員の現状
初めての大学生活に不安を抱いている。



組合員の理想の姿
入学前の不安や悩みを解消し、安心して入学準備を行うことができる。さらに、4年間のキャンパスライフをイメージできるようになる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。



兵庫県立大学生協 入学準備ガイダンス

基本データ

日時：2020/2/15 10:00-13:00

場所：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス

運営体制：

職員2名 | 学生委員40名

目的/概要

新入生や保護者が感じる大学生活の不安を先輩学生から直接解消し、これからはじまる新生活を楽しみに感じてもらう。

コンテンツ

- ・進路インタビュー
- ・学部別の時間
- ・大学生協について
- ・食堂体験&相談ブース

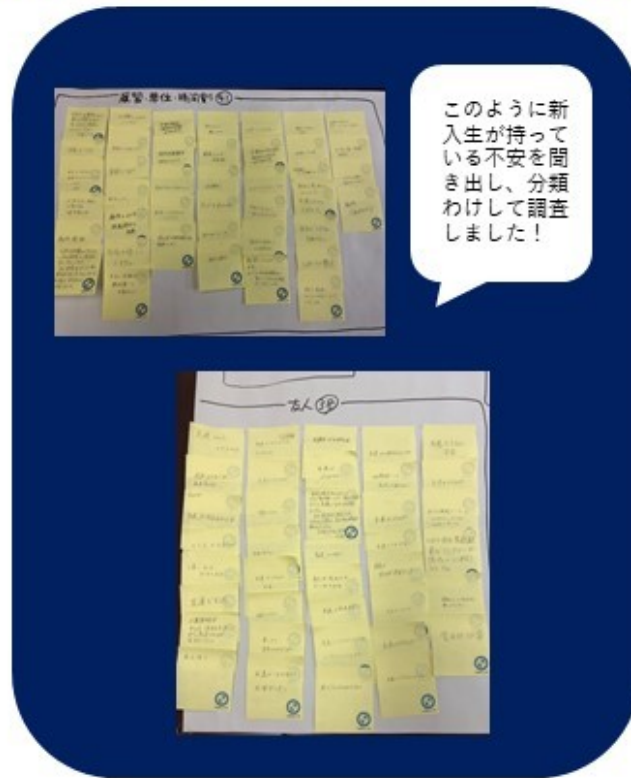
00 6月から職員と 新学期ミーティングを実施

職員さんと綿密な連携◎

兵庫県立大学生協では6月から2週に1度のペースで、定期的に新学期ミーティングをおこなっています。この新学期ミーティングには学生委員の新学期担当と職員さんが参加し、主に入学準備ガイダンスと新歓パーティについて話し合っています。学生は学生生活を送っている実感を伝え、それをもとに職員さんが経験から案を提示するなど、それぞれの立場から意見を伝えることができています。

新入生・在学生の実態を調査

学生委員会に入部した1回生に向けて、「入学前や1回生の春に不安に感じていたこと」を調査しました。また、在学生には通学時間などの大学生活における実態を調査しました。このような新入生や組合員の情報を調査しておくことで、新入生や組合員が知りたい時に必要な情報を提供することができたり、よりニーズに沿った活動になります。実際に兵庫県立大学生協での入学準備ガイダンスでは、調査から多く出た不安に感じていたことをもとに説明会を作り、このようなデータを数値とともに説明したり、アンケート結果の資料を配布しました。



このように新入生が持っている不安を聞き出し、分類わけして調査しました！

01 卒業を控えた4回生への 進路インタビュー

大学生活4年間を見据えられた

兵庫県立大学を卒業する学生委員の4回生を各学部ごとに迎えて進路インタビューをおこないました。進路を決めたきっかけやそれを目指すにあたってどんなことに取り組んだのかを伝え、新入生が新生活をイメージできるようにしていました。また、進路の情報を得る方法として、大学のキャリアセンターを紹介し、新入生は大学がサポートしてくれる安心感を感じることができたと思います。



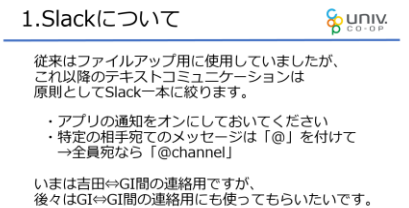
「1回生のうちからやっておく」といいことは？という質問があり、新入生はこれから頑張ることをイメージできたと思います。

企画担当者からのコメント

Zoomでのミーティングの場合、企画について言葉で説明すると、伝わらない部分が多々あります。そのため、同じ方向性で企画を進められるよう、小さなことでも数枚のスライドを用意し、画面共有を用いて話し合うということを工夫しています。また、副産物としてZoomの予約機能やホストの役割など、様々なZoomの機能を活用できるようになっています。本番もオンラインでの実施になるため、どのようなリスクが考えられるか想定しやすくなりました。

新学期ミーティング
に焦点を当てて
記載しています

↓実際のスライド



新学期ミーティング2021
#5 2020/09/15(火)

職員の方からのコメント

部会開催にいち早くZoomを取り入れていたのを見て、新学期イベントの打合せや実施にも活用できそうだと思います。Zoomだけだどうしても交わせる情報が少なくなるため、テキストコミュニケーション用にSlackを新規導入し、担当者と生協職員のやり取りが周りから見えるようにしています。

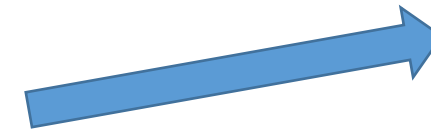
取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

大学に登校できない状況でも定期的に連絡を取り合うことができています。

●取り組みから見えた課題

対面と比べ双方向に話す時間が短く、話が発展しづらいことが課題です。また、イレギュラーなことも多くありますが、ガイダンス本番でイレギュラーなことに対応できるよう、ミーティングのときから様々な環境で多くの方法を実践し、それらに対応できるようになるということも一つの課題です。



組合員の現状(今の一回生)
オンライン授業だったので入学前の情報収集ができず、友達を作る機会もほとんどなかった。

組合員の理想の姿(次の一回生)
オンラインで説明会があったので、学校に行けなくても色々な話が聞けた。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実地を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう。

大切にしたい視点①

大学生の学びと成長を支えるために大学生協として何が出来るかを考えましょう

新入生の不安解消を第一に企画しました！

昨今の情勢の中、新入生はつながりが少ないという現状からいち早くZoomを用いてオンラインでの新歓企画を行ないました！

活動概要

日時：4月21から計10日
媒体：Zoom上
参加者数：20人
内容：Zoomを用いてオンライン上で履修などといった新入生の不安を解消したり、つながりをつくらしたりするために企画をおこなった。



[新学期]



神戸大学生協 オンライン家パ

POINT.1

情勢にすぐに対応！

もともとは対面での企画を予定していましたが、この情勢の中、対面での企画は厳しいと判断し、いち早くオンラインでの新歓企画を計画しました。対面での企画をつくりこんでいた中で、すぐにオンラインに切り替えるという判断ができていたところがとても良かったです◎

参加者も履修やサークルなどの不安が解消されとても安心した表情でした！また、参加者にとって同じ大学の人と話せることが新鮮だったらしく、終始楽しい雰囲気でした！

POINT.2

Webでも不安や悩みを解決しやすい環境づくり

Zoomのブレイクアウトセッションという1つのルームの中で参加者をグループに分ける機能があります！その機能を使い、参加者に伝えるときは全体で話し、新入生の不安を解消するときには少人数のグループで話すというように、新入生のことを第一に考え企画が作られていました◎



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [石田 龍太]
Ishida.Ryouta@univ.coop

企画担当者からのコメント

まず工夫した点は、新入生ができるだけ同じ学部の先輩と話せるようにシフトを組んだことです。今年是对面での新歓が開催されず新入生は大学生活への不安を抱えていると思ったので、例年行っているような家パをzoom上で開催することにしました。課題については、学部ごとに日程を分けると新入生の来人数にばらつきが出てしまうことです。また、オンライン上では時間がルーズになりがちで、上回生が時間を忘れて話してしまうこともあった点です。(企画責任者)

職員の方からのコメント

実はこの企画、提案やアドバイスがまったく出来ていません。このコロナ禍で右往左往するばかりで、現状を如何に切り抜けるかで精一杯でありました。このような中、学生委員会活動の今後を見据え、「新入生の支援をするんだ！！」との熱い思いが成せた企画と思います。これまでもSNSを学生委員会が活用していたことは知っていましたが、時流に沿っただけの活動補完でしかないと考えておりました。ここまで昇華させた学生委員会に感謝の言葉しかありません。これからも新しい風をもたらして下さい。(神戸大学生協 坂本専務)

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
大学生活について不安でいっぱいな新入生に対して友達や先輩と繋がる機会をつくることで、これからの大学生活を想像することにつながりました。
- 取り組みから見た課題
参加者が少なかったことが課題としてあげられます、多くの新入生の不安解消に繋げるために、どのように情宣していくかを考える必要があります。



組合員の現状
対面で会うことができず、友達がいない状況。



組合員の理想の姿
同回生や上回生とつながることでより良い大学生活を送ることができる。

2021年度活動方針との関係性

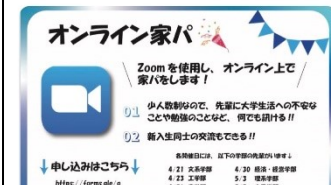
活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実態を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう

大切にしたい視点②

学び合い励まし合いができるように、組合員同士のつながりをつくりましょう。

本日よりzoomを用いたオンライン家パを開催します！GIの先輩や他の1回生と話すチャンス！仲の良い先輩や同級生を作ろう！
上回生は学部ごとに別れているので、学部のことも聞けるチャンス！
まだまだ新入生募集してます！
↓申し込みはこちらから↓
forms.gle/oBxAsrGdgDmM3b...



Discordについては、説明のマニュアルを作成し全1回生に案内を流しました。PCセットアップ講習会では実際にサーバーに入ってもらうまでをサポートしました。それまでに、大学と他団体と協力でき、1団体ずつ丁寧に対応することで円滑に運営することができました。このサーバーはPC・IT活用講座にも活用しました。

今後の課題は、匿名性が必要な人には、Twitterの質問箱などに行くまでの中継地点にDiscordがなれるようにすることや、新学期以外でどのように活用していくかです。

職員の方からのコメント

職員集団ではなかなか発送にない取り組みなのが、このDiscordの素晴らしい部分です。新入生と先輩学生がつながりやすいようチャンネル部分も、部活、サークルだけでなく、他の学生団体と協力のもと、幅広い分野で情報発信・交流ができていたことが過去に類を見ない強みになっていると感じています。

今後も常に新鮮な情報を流すことで、より活発な交流の場になること、この交流は対面（リアル）に繋がることでより大学生活が充実することを期待しています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

気軽に上級生に相談したり、聞きやすい場づくりとなり、もしなにかあってもここで不安解消につながるという新入生の安心感につながった取り組みとなったと思います。

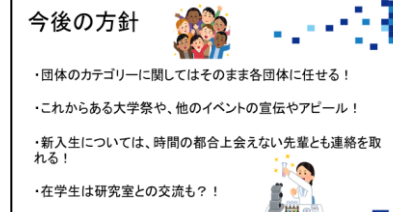
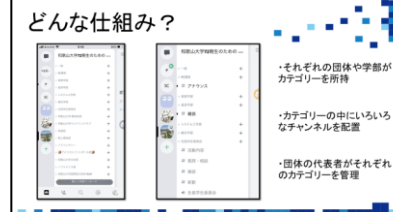
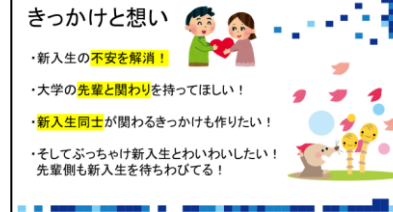
●取り組みから見た課題

企画担当者からのコメントにも書いていますが、新学期の時期の新歓勧誘や履修相談だけでなく、日常的に人とのつながり感じられる場所になれば、よりこのコロナウイルスの中でもコミュニティ形成が円滑に進むのではないかと思います！



組合員の現状

対面での相談会などがなく、不安や疑問をどこで解消したらいいかわからない。



組合員の理想の姿

上級生や同じ新入生とつながりが持て、大学生活に対して期待をもって過ごすことができる。

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし

組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう

大切にしたい視点②

日常生活・暮らしについて相談し合える仲間を作るための取り組みを増やしましょう

他団体と積極的に協力する姿勢

新入生にとって気になる情報を発信したり、気軽に相談できる場を、様々な団体と連携してつくりました！

活動概要

日時：4月2日から
媒体：Discord
参加者数：在学生と新入生合わせて約1200人
(6月8日現在)

内容：新入生に部活・サークルの先輩が集まるサーバーに入ってもらおう。そこで新入生自身が見たいチャンネルに入って情報を得たり先輩に質問したりできる。学部のチャンネル、雑談チャンネル、履修登録についてのチャンネルなど、様々なものが用意されている。



POINT.1

新入生に寄り添う気持ちから

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で授業延期となってしまう、新歓活動も延期されてしまいました。それに伴って、新入生が友達や先輩とつながる機会が失われてしまいました。この現状から、こんな中でもせめてオンラインでもなにかつながれる場所があれば、という思いから学生委員会のメンバーで考えて、この仕組みを作りました！新入生はいまどんな状況なのかをつかんだうえで新入生のために動いているのが素敵ですね！

また、このアプリ内ですべての団体の情報を確認できるため、ここさえ見れば必要な情報が漏れなく入ってくるのも新入生の安心にもつながります◎



POINT.2

いろいろな団体と一緒にサポート

この取り組みは学生委員会だけではなく、学生自治会や新歓実行委員会と協力をして運営をしています。保護説などの企画の際に、いろんな学科の新入生の不安を解消したいという思いから、他団体の人たちと連携を強化していました。また、大学の支援課にも許可をもらっており、大学からも新入生のために頑張ってもらいたいと後押しされています。1団体だけでは新入生にアプローチできる範囲も限られてしまうかもしれませんが、いろいろな団体と協力することで、より新入生のニーズに沿った活動ができています◎



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [芝田 美里]
Shibata.Misato@univ.coop

[新学期]



和歌山大学生協
Discordでの取り組み

和歌山大学生協 キャンパスライフ フェスティバル

基本データ

日時：2020/3/22, 3/28 10:00-15:30

場所：講義室

運営体制：

職員0名 | 学生委員12名 | アドバイザー2名

参加者数：1回目 41組79名

2回目 64組115名

01 先輩から実感をもった プレゼンを

会場の明るく柔らかい雰囲気◎

大学の4年間の話をする場面では、写真をたくさん使って新入生保護者にわかりやすいプレゼンになっていました。また、大学生活での実際の様子を演習してみせたり、それぞれの学部先輩が生の声で学部の特徴や楽しいところを伝えたりしていました。これによって、参加者が**大学生活をよりイメージしやすいような工夫がなされていました！**



時間割を組む体験のときには、時間割から実生活の話につながって、先輩との話が盛り上がりつつあった様子でした！

02 新入生が自分の現状を 把握できる体験

班内での教えあいもGOOD！

PCが苦手な新入生もいましたが、新入生同士で班を組んで先輩もついていたことで、取り残されることなく**みんな教え合いながら進めていたのがとてもよかったです◎**

また、実際の講座の宣伝にもなっていますが、新入生が自分はどれくらいPCを使えるんだらうということが分かったうえで、大学生活で困らないためにもどういった選択がいいのかを考えられるということが印象的でした。



真剣にPCに向き合う新入生。保護者の方は自分の子どもが他の新入生と関わる様子を、嬉しそうに見ていました！

03 気づきや振り返りを バネに高めていく

全体の様子を見てすぐに振り返り活かす

当日の会場の雰囲気を見て、「次の回はもっと積極的に声をかけていこう！」と、**1日の中で自分たちのことを振り返ってよりよいものにしようという姿が印象的でした◎** また、アンケートの結果や1回目の振り返りの中で出た改善点を2回目に活かしていました！内容をどんどん高めていったことで、新入生保護者からも不安が解消された、参加してよかったという声が多く集まりました！（右画像）

自身の現状
今後の参考に、更に大学生活が楽しみになったと思います。こちらこそ、ありがとうございます。
とても分かりやすく、初対面でも話せることができました！
途中で離れて参加したにもかかわらず、自然とイベントに参加できて、スタッフの方々の配慮にも感謝しています。
先輩方がとてもフレンドリーで話し掛けてくださり、不安が解消されました！
ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

自身の現状
とても親切に話し掛けて下さり、決して不安を感じ、おれなかったです。2日や3日は本当に不安で、と子供達の事を考えて下さったのにも感謝です。本当にありがとうございます。
みなさん、しっかりしていきたくて安心しました。
とても分かりやすく説明してくれました。
和歌山の先輩方はとても親切だと聞いていたのですが、本当にその通りで安心しました。
このような体験でしたが、開催していただいていた方がうれしかったです。いろいろな体験をさせていただいたことにも感謝です。体験することができず残念でしたが、今日の会で本人も少し不安がなくなって大学生活が楽しみました。

企画担当者からのコメント

キャンパスライフフェスティバルについては感染対策を徹底し、今年の新入生の状況に合わせてスライドを作り直し、新入生だけでなく、保護者と一緒に履修登録体験をしてもらって安心してもらいました。全学部の学生で新入生をもてなせるよう、スタッフ側も充実させ、時間割はより多くの組み合わせを紹介し、パソコンをメンバーからも貸し出して、より多くの方がパソコンに触れるようにしました。

今後の課題は、受付をした後や消毒中の待ち時間に暇にならないように何をするかです。



職員の方からのコメント

今年度は新型コロナウイルスの影響で対面での説明会等が厳しい中、学生自らが感染症対策防止に取り組み、このフェスティバルを実施できたことは新入生だけでなく、大学にとっても貢献できたのではと感じています。中身についても、先輩の「生の声」を中心に進めたことでより安心感に繋がり、キャンパスライフのイメージが膨らんだと思います。今後も学生が自信をもって取り組めるこのような機会を増やしていければと考えています。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生・保護者の不安解消につながっただけではなく、上級生自身も自分の経験や実感をもとに自信をもって話をしたり相談を受けたりして、成長を感じられる場となっていました。

●取り組みから見えた課題（目安90字）

新入生は実際に体験をしながら大学へのイメージを膨らませていましたが、保護者の方がそれを後ろから見ていただけになってしまう時間がありました。保護者の方には別のコンテンツを用意するなどの工夫をして、新入生・保護者の両者に、より寄り添えるといいと思いました！



組合員の現状

入学前で、大学で生活している自分の姿をあまりイメージできない。漠然とした不安が大きい。



組合員の理想の姿

大学に入ってからやりたいことや挑戦したいことが見つかると、大学生活に対してワクワクする。

2021年度活動方針との関係性

活動方針③：学び

組合員の学びと成長の実地を把握し、新たな学び方や新たな学修支援の形を作りましょう。

大切にしたい視点①

大学生の学びと成長を支えるために大学生協として何が出来るかを考えましょう



自炊の第一歩！

県民生協との連携によって実現されたものであり、コロナ禍の大学生の食生活を支援している。

活動概要

日時：10月5日(月)～
主な対象：下宿生全般（特に1回生）
活動内容：500円で2～3人分の食材のセットを販売しており、手軽に自炊ができるため、下宿生の自炊を応援している。



POINT.1

自炊キットで自炊に挑戦！

①フライパンで簡単調理♪
カット野菜とお肉を炒めるだけ！
洗い物やゴミも少なく、とってもエコ！

セット内容
カット野菜 カット精肉 麺やたれ 出巻き上り♪

②1セット500円！
1セットで2～3人前入りだから、夜ご飯と朝ご飯にすれば、1食166円～250円！
とっても経済的♪

自炊を手軽に始めることができる

コロナの影響により自宅で食事をするが増えた一人暮らしの学生向けに、自炊を手軽にできるような内容になっている。カット野菜・カット精肉・たれがセット内容であり、フライパンで炒めるだけなため自炊を大きな手間なくすることができる。野菜も入っていることから、自身の健康に目を向けてもらうことが期待できる。また、今後自炊の幅を広げる第一歩になると考えられる。

ミールパスでも利用可能なため、大学内の食堂だけではなく、自炊も含め大学生生活全体の食生活を支援している。

社会情勢から学生の生活環境を鑑み、健康な学生生活を応援している素敵な取り組みである。



【店舗】
×
【健康と安全】



福井大学生協
自炊キット

POINT.2

県民生協との協力

この自炊キットは福井大学生協と福井県民生協の連携により実現されたものです。もともと県民生協で販売されていたものを若者向けにできないかという想いが発端です。

協同組合間の連携を活発にして多くの組合員に幅広いアプローチしていきましょう。



ご質問や【K's NEWS】で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局【高橋 岳】
Takahashi.Gaku@univ.coop

職員さんからのコメント

福井大学生協では、ミールパスを運用していますが、最近、ヘビーユーザーと、ライトユーザーの使用率の差が顕著であり、食堂で食べていけない方へ、持ち帰りできる食事提供として、自炊キットを考えていました。
そして、福井県民生協では、高齢者向けの自炊キットをすでに販売しており、実績もあったためです。それを若者向け、低価格で実現できないかと思ったのがきっかけです。

当初は学生のため、通常2～3食で1パックのキットを、1食分に少なくして作成してもらったのですが、単価が高く、試作期はあまり売れませんでした。その後、コロナの影響で企画が停滞し、9月の段階で、10月からの目玉商品として開発を再開しました。
再開した開発時に、2～3食パックでもいいので、ワンコイン500円で買えるように依頼をし、現在の形ができあがりました。（堀内 専務理事）

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

食堂が使えない、使うことがはばかれる状況が続きますが、その中でも組合員が健康的な食事をとることが出来るような商品を開発して販売することが出来た点。

●取り組みから見えた課題

内包されているセットの食材によって食材の期限が異なるため、期限が最短のものに合わせて廃棄をしなければならない。



組合員の現状

コロナで食堂を使うことが出来ない。
せつかくミールを買ったのに…



組合員の理想の姿

食堂を使わずとも生協を利用できる！健康的な食事を摂れる！

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし

組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう。

大切にしたい視点③

大学の保健管理施設や行政・医療生協・企業といった組織と連携し、取り組みを発展させましょう。

組合員の現状から企画につなげました！

もらっても捨てちゃうレシート…実はもったいない？！
組合員の栄養素の偏りをレシートから分析した取り組みです！

活動概要

日時：2019年12月12日～20日
場所：食堂
回収したレシート枚数：1650枚！
概要：捨ててしまうレシートを回収し、組合員の栄養素の偏りを調査した取り組み。結果として野菜の多く入った、豚汁を値下げし組合員に提供しました。



POINT.1

レシートで現状分析！



多くの組合員が利用する食堂で組合員のレシートを5日間回収し、すべてのレシートの三郡点数法の平均をとりました。企画背景としては、組合員が三郡点数法が記入されたレシートを見ずに多く捨てられていることに気づいたからです。この気づきからレシートを利用し組合員の栄養素の偏りを調べ、結果をもとに足りていない栄養素が多く含まれるメニューの値段の改定につなげ、より健康な食事を組合員に提案する目的で行われました。ただ値下げし、健康的な食事の提案をするのではなく組合員の実態をふまえて取り組みにつなげました。1650枚という大量のレシートを分析するのは大変でしたが、組合員の実態を今まで以上に把握することができました！

POINT.2

食堂から健康な食事の提案

現状分析の結果をふまえ、今回の企画ではレシートの三郡点数法の見方を紹介したポスターを食堂の一番目にとまるところに設置していました。組合員の食を支えている食堂から食生活の提案や健康の啓発を行うことにより、組合員に直接発信することができました！



【健康・安全】

×

【店舗】



滋賀大学彦根地区生協 レシートバランス調査

企画担当者からのコメント

きっかけはバランスの良い食事をとる事に焦点をあてた取り組みでしたが、そもそも組合員がどんな食事をとっているか知る必要があると判断したため、レシートを回収することに至りました。回収したレシートを一つ一つ分析することがかなり大変でしたがこれを機に三郡点数法を組合員に知ってもらいたいと感じレシートの味方のポスターも貼りだしました。多くの組合員に参加がとてうれしかったです。

職員の方からのコメント

今回の取り組みは学生目線の取り組みとして評価ができます。根気強く大量のレシートを分析した点も組合員の現状を把握することにしっかりと焦点を合わせられたこともよかったと思います。

新型コロナウイルスの影響によりせっかく把握した現状も活かせぬまま終わってしまったことが残念です。落ち着けば、またみんなで取り組みにつなげていきたいですね。

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
組合員の現状の分析方法を知ることができたことが学生委員会の成果に挙げられると考えます。
- 取り組みから見えた課題（目安90字）
あ今回の取り組みは現状分析の手法であり、どれだけの組合員が野菜摂取量を増やしたかは見る事ができませんでした。今回あつめたデータをぜひ他でも活かして行ってほしいです。



組合員の現状
私たちはバランスの良い食事をしっかりととれているのかな？

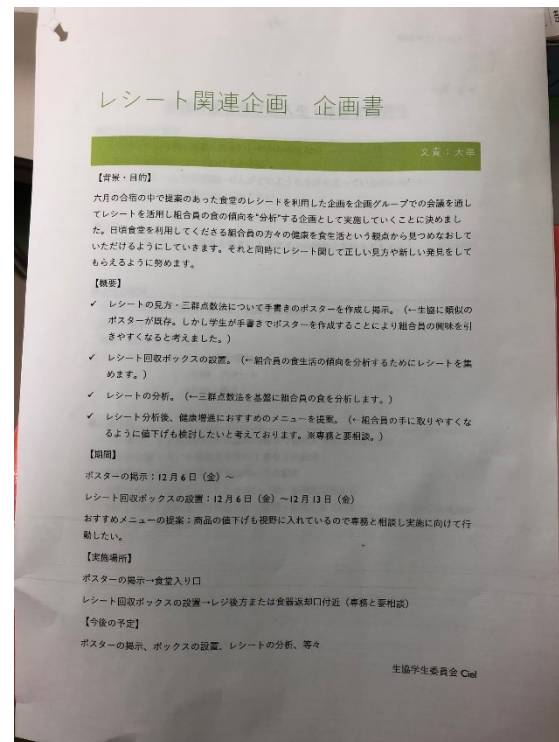


組合員の理想の姿
バランスの良い食事を組合員みんなでとれるようになりたい！

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし
組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう

大切にしたい視点①
組合員の「食」や「健康」を支えるために、情報を発信したり、取り組みを見直したりしましょう



印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください!

2020.11.12
Vol.059
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

よりレベルアップした取り組みに

例年行っている食生活相談会と形式を変えて行いましたが、様々な工夫により、よりレベルアップした食生活相談会になりました。

活動概要
日時：2020年10月31日(土)・11月1日(日)
11:00~15:30
媒体：Zoom
内容：学生委員からの説明
クイズ大会
栄養士さんによる食生活相談会
参加者数：11人(10/31)、15人(11/1)



POINT.1

オンラインでも想いは変わらない



例年対面で行っている食生活相談会ですが、今年オンラインでの開催になりました。形式は変わりましたが、学生委員の取り組みに対する想いは変わらず、より内容の濃いものになりました。組合員により伝わりやすい、そしてわかりやすい内容のオンライン食生活相談会でした◎
学生委員による説明の時間では、例年のブースに行って体験をするということを短い時間で再現するために、ただ話すだけではなく動画をしながら、参加者みんなと体験しながら、食生活を中心とした6つのコンテンツ(朝食について、簡単レシピ動画の紹介、美肌になるための生活習慣について、アルコールについて、共済について、便秘改善について)を用意しました。午後からは栄養士さんによる食生活相談会を行い、組合員にとって家にいる時間が長い今だからこそ、自分自身で食生活について考えられるいい機会になったのではないのでしょうか。

POINT.2

お互いの信頼関係があるからこそ

企画を行うにあたって、学生委員会が発信しているSNSだけではなく、職員さんからの提案で、生協HPにポスターの掲載をし、より多くの組合員に届く形で情報発信を行いました。職員さんとの連携が日常的に行われているからこそですね◎

栄養レンジャーは、5大栄養素を表しています!

たんぱく質
ビタミン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
京滋・奈良エリア

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

食生活相談SHOW!

[共済]
×
[健康・安全]



同志社生協今出川キャンパス
栄養レンジャー

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください!
ブロック学生事務局 [芦田 早詠]
Ashida.Sae@univ.coop

企画担当者からのコメント

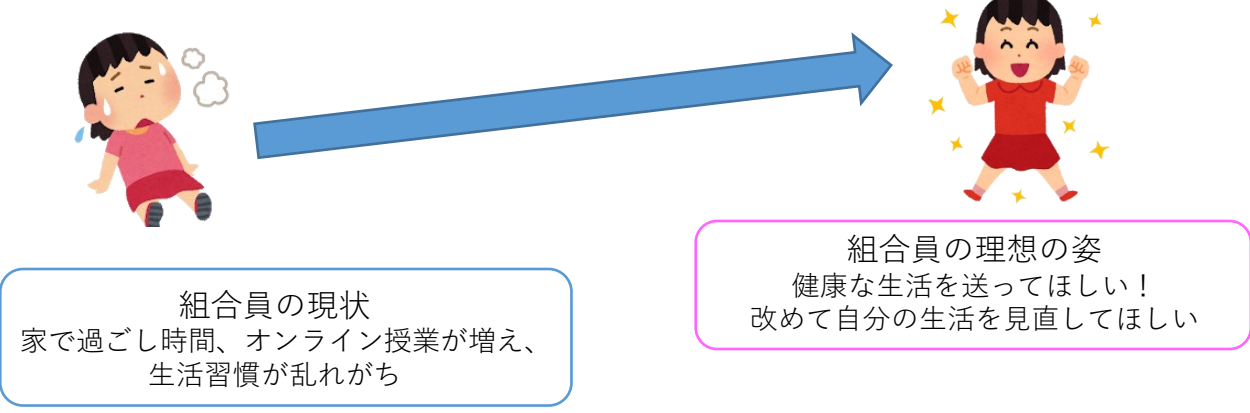
オンライン上での食生活相談会という初めての試みの中で、オンラインの特性を生かして工夫することを心がけました。例えば、ZOOMの画面は粗いためリアクションを大きくしたり、画面を共有しているときは各々の様子が分かりにくいいため声かけをしたりしました。限られたものの中で、そのものの特性を生かしながら自分たちなりの食生活相談会ができたのではないかなと思います (学生委員2回生 石澤)

職員の方からのコメント

この状況の中で、オンライン食生活相談会を開催することができたのは本当によかったなあと思います。最初は、どのやり方がいいのか会議を重ねたくさん考えましたが、お互いにアイデアを出しながらこの状況の中でも、満足できる企画ができたのではないかと思います。学生とは、企画を行うための会議の際に多く関わりました。職員としては、生協HPのパナーに企画の宣伝を載せるなどを行いました。(職員 河野さん)

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果(目安90字)
限られたものの中で、強みを活かしながら今できる形の食生活相談会ができたと思います! また対面で行っている時と同様に、職員さんとの連携もできていたことは、成果として挙げられると思います◎ また企画後にも参加できていない人に向けてSNS発信も行いました。
- 取り組みから見た課題(目安90字)
今回は、参加者数が少なかったことが課題として挙げられます。今後非対面下での集客方法については、日ごろの広報活動を見直しながら検討していきたいです!!



2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし
組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう

大切にしたい視点①
組合員の「食」や「健康」を支えるために、情報を発信したり、取り組みを見直したりしましょう。

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.2.5
Vol.011

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

たくさんの団体と協力して 多くの組合員を巻き込む！

多くの組合員や学内・外団体を巻き込みながら、自分の健康状態について考える場を提供することができました！

活動概要

日時○2019年12月23日(月)15:00~18:30

場所○杉本キャンパス 北食堂

内容○アルコールパッチテスト、体組成測定、
血管年齢測定、骨密度測定、健康相談、
食生活相談などのブースを設置。
餅つき体験コーナーでつきたての餅を
提供。



POINT.1 連携によって多くの組合員を巻き込む

①学内TFTサークルとの連携

ブースの運営側として携わってもらいましたが、
楽しそうに参加しているのが印象的でした。運営側
として他の組合員の健康をチェックし、それを受け
て自分の健康を見直す機会にもなって良いですね！



②南大阪医療生活協同組合との連携

南大阪医療生協の方には血圧や体組成測定などの
結果を通して食生活相談を担当していただきました。
専門知識を活かして、組合員には正確な情報を伝え
ました。みんなが健康な生活を送ってほしいという
共通の想いをもって連携し組合員にアプローチする
ことができました！

市大組織部は人数が少ない中でしたが、上記の他
にも市大生協の職員さんなどの協力によってブース
数10個、参加者が100人規模というたくさんの組合
員を巻き込んだ企画を実施でき、組合員に健康を見
直す機会を与えることができました！



POINT.2 興味を引く情宣

学生に配るピラと教職員に配るピラを変えることで
それぞれに対して興味を引くような内容を掲載しまし
た。また、目を引くような情宣をすることで、たくさ
んの組合員を企画に巻き込むことができました！



[共済]
×
[健康と安全]

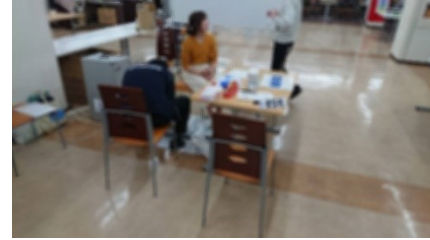


健康フェスタ2019
大阪市立大学生協

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい
活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [永江 孝太郎]
Nagae.Koutarou@univ.coop

企画担当者からのコメント

食生活って振り返ってみると思ったより乱れていると思いま
す。特にテストシーズンになるとその乱れは加速し、生活リ
ズムも乱れて体調を崩しがちだと思います。そんな中で、い
ろいろな団体と連携して職員さんとも協力して健康企画を行
えて組合員に健康を考えられるきっかけを与えられてたらい
いなと思います。



職員の方からのコメント

今回の取り組みは、組合員に対して健康を意識して頂くとい
う企画の趣旨はもちろんですが、学内の他の団体や医療
生協の皆さんとその趣旨に向かって一緒に取り組めた事も、
生協らしい取り組みだったのではないかと思います。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

組合員は健康に関して、まず自分の健康状態と自分に合った予防策・改善策を知り、特に予防の
面から健康について意識することができた。

●取り組みから見た課題

予防策を練っていても万が一のときのために共済についての情報を提供できるとよかった。身の
周りでも起こりうることを実感するために給付事例を用いて注意喚起を行えるとよかった。



組合員の現状
時期的に生活リズム・食生活の乱れが起
こったり体調を崩しやすい。



組合員の理想の姿
年末年始を元気に楽しく過ごす。冬休み明
けにもしっかり学業を行えるようにする。

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし

組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいの
コミュニティづくりを強化しましょう。

大切にしたい視点③

大学の保健管理施設や行政・医療生協・企業といった組織と連携し、取り組みを
発展させましょう。

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.21
Vol.049

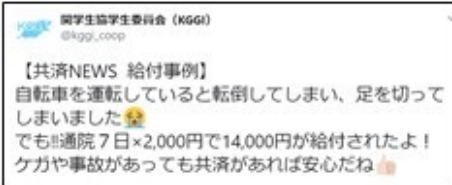
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

今だからこそたすけあいの輪を広げたい

キャンパスに行くことが少なくなった状況の中でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、SNSでの予防活動を定期的に行いました！

活動概要

【内容】
新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業が中心となった状況でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、Twitterで定期的に共済NEWSの発信を行いました！



POINT.1

オンラインでたすけあいの輪を広げる

新型コロナウイルスの影響で**キャンパスに行くことがなくなった中**でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、今まで店舗などに掲示していた共済NEWSをTwitterで定期的に発信しました！
ケガや病気をしても共済に加入していることを知らず給付を受けられない人が多いという現状に目を向け、「共済とは何か」「加入しているかどうか分からない場合にはどうすればいいか」などをまとめました。



POINT.2

自分たちの生活実感から

共済NEWSの内容は、**学生委員自身が普段の生活の中での気づきから**、他の組合員にも知ってもらいたいというものを記載しています！
「オンライン授業で家にいることが多いからこそ、睡眠の質を大事にしましょう！」「友だちに相談できず心に負担を抱えていませんか？」など、**その時々合った内容を発信することで、組合員が共感したり、たすけあいの輪を広げてより多くの組合員に健康を意識してもらうことにつながっていました！**



【共済】
×
【健康と安全】



関西学院大学生協
オンラインKGG共済NEWS

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [岡 映心子]
Oka.Emiko@univ.coop

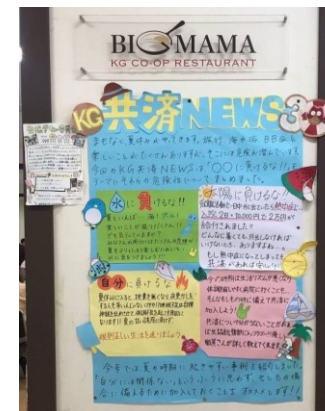
企画担当者からのコメント

今回は、Twitterを用いた活動を行いました。前半(6,7月)には、共済ボードの中でも**特に注目度が高い給付事例を取り上げる**ことで、**より多くの組合員に共済への興味・関心を抱いて頂けるよう工夫**しました。また、後半(10月)では、共済への基礎知識やコロナに関する内容を取り上げたボードを作成しTwitterに投稿しました。今回は、Twitterのみでの投稿となりましたが、**今後はInstagramも用いることで、より多くの組合員に共済を認識してもらえよう努めたい**と考えています。



職員の方からのコメント

キャンパスに学生が登校できない状況下、学生委員会ではオンラインで様々なことに取り組んでくれていますが、これまで食堂ホール内に掲示していた共済ボードを、途切れることなく発信してくれているのは大変良いことです。**秋学期開始後、少しずつ給付申請などで窓口を訪れる学生さんが増えてきましたが、春学期の間は直接学生さんとやり取りができなかった共済に関わる職員にとっても、学生委員会の活動には励まされる**ところがありました。

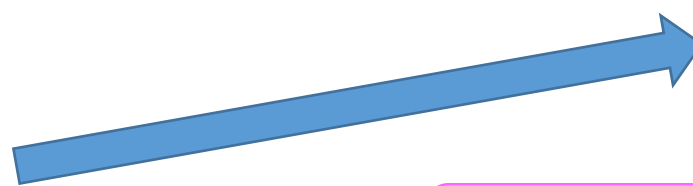


取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
今回は、Twitter上のみでの活動となりましたが、ボードを掲載することと比べより多くの組合員に共済を知ってもらうことができ、非常に有効な手段でした。また、現状に合わせた内容をとり扱うことができ、良かったと考えます。
- 取り組みから見えた課題
給付事例を扱う際に、どうしても過去に扱った内容から取り上げることになってしまい、新鮮な情報を伝えることができなかった点が課題だと考えます。加えて、組合員を意識した上で4本柱をバランスよく取り上げることが求められると感じました。



組合員の現状
➢ 共済への認知度、加入が低い。
➢ 給付漏れが発生している。



組合員の理想の姿
➢ 共済を身近なものと感じてもらう。
➢ 給付について認識してもらう。

2021年度活動方針との関係性

活動方針②：暮らし
組合員の生活実態を把握し、暮らしを支える取り組みとたすけあいのコミュニティづくりを強化しましょう。

大切にしたい視点①
組合員の「食」や「健康」を支えるために、情報を発信したり、取り組みを見直しましょう。



大学とともに組合員の生活をよりよく

神戸薬科大学学生協は大学と協力してさまざまな取り組みをおこない、組合員の大半である学生の生活をよりよくしてきました。

活動概要

- 大学が行った「学生生活実態調査」のうち大学生活に関する部分を引用し、その学生の声を理事会で開示
- 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、食堂の営業再開に向けて大学と協力して取り組んだ



POINT.1

大学とともに組合員の声に耳を傾ける

神戸薬科大学学生協ではひとことカードとは別に、大学が行った「学生生活実態調査」のうち「大学生活に関するものを抜粋し、分析したうえで回答をおこなっています。」そしてその学生の声を理事会で開示し、議論していくことを検討していました。

コロナ禍の現状で、組合員の声をあまり取り組みに反映しづらい状況ではありますが、「従来設置していたアイスクリームの自販機を復活してほしい」との声から、大学近くにほとんどお店がないこともあり、再びアイスクリームの自販機を設置しました。このことにより組合員は生協店舗が開いていない日、開いていない時間でもアイスクリームを購入できるようになりました。



POINT.2

大学とともに組合員が安心して使える食堂へ

後期からの食堂営業再開に向けて、兵庫県や事業連合のガイドラインをもとに大学と連携して感染対策をおこないました。具体的には、階段から食堂までの導線を決めてパーテーションで仕切り、一方通行にしました。さらに、間隔をあけることのできるように足跡をつけ、席には仕切りを付けています。そして、除菌シートを大学の施設課に準備してもらい設置しています。このように大学と連携しておこない、利用する組合員が安心して利用できるよう取り組んでいます。



[機関運営]



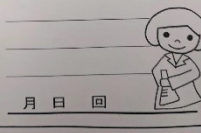
神戸薬科大学学生協 大学との協力での取り組み

職員の方からのコメントPOINT.1

「アイスクリームの自動販売機を設置して欲しい」との組合員の声に応えることができ良かったです。できるだけ職員と組合員とのコミュニケーションがとれるように、これからも努めていきたいです。また生協では、「ひとことカード」も組合員の皆さんと大学生協との日常的なコミュニケーションツールとして活用いただけるように、取り組んでいきます。「すべてのご要望」にお応えすることはできませんが、組合員の皆さんの率直な声をお聞かせいただき、店舗運営に反映させていただきます。

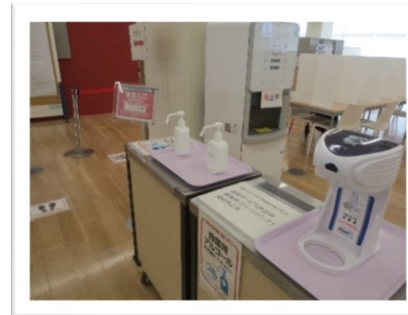
生協ひとことカード

ご意見・ご要望・ご質問等 記入ください！



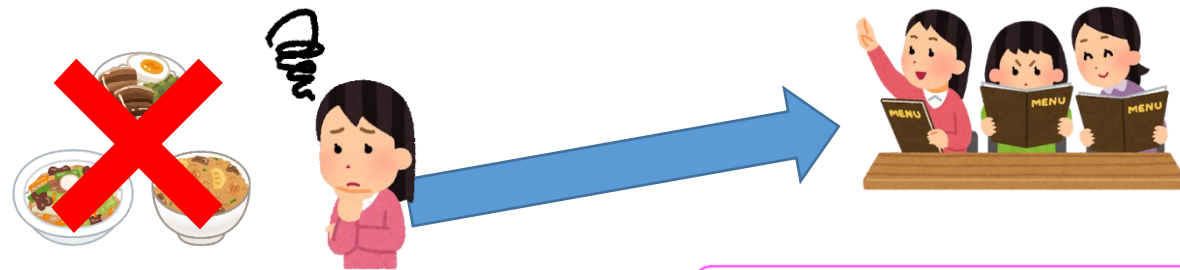
職員の方からのコメントPOINT.2

前期は新型コロナウイルスの影響で休業していましたが、後期は感染対策をしっかりと行い営業を再開しました。密にならないよう組合員向けの導線作りや仕切り板の設置をいたしました。導線は再開してからも組合員の利用状況に合わせて何度か修正をしました。感染対策は手間のかかることが多いのですが、安全と安心のために手を抜くことなく今後も継続してまいります。



取り組みの成果と課題

来店時のマスク着用と消毒、提供を待つ列の間隔を保つ静かに食事をする、食後は長居せずに退席をするなど組合員には大変ご協力をいただいています。現在はメニューを限定していますが、今後は様々な企画などを通して組合員に満足していただけるお店作りに取り組んでまいります。



オンライン授業並行実施のため登校人数が減り来客数も減少しました。そのため、メニューが限られていて以前よりも不安・不便な状況になっています。

限定メニューではありますが、様々な企画やリクエストメニューで、食事が楽しめます。

2021年度活動方針との関係性

活動方針①：生協運営

大学生協が組合員そしきであることを再確認し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう

大切にしたい視点③

大学生協の魅力伝え運営参加の輪を広げていくために大学・他団体・地域とのつながりを作りましょう



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [大内 梨央]
Ohuchi.Rio@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.11.12
Vol.053

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

声を届けやすい工夫で 組合員みんなで作る生協に！

京都教育大学では、6月から大学での対面授業が開始しています。総代が声を届けやすい工夫をおこない、組合員みんながわくわくするお店づくりにつなげています。

活動概要

日時：6月10日(水) 13:00~13:30
場所：大学のいくつかの教室に分かれて実施
参加者数：約90名
内容：生協・総代会・総代について、昨年度総代会で実現したこと、ひとことカードの記入、店舗の利用方法の紹介、購買に置くパンの投票



[総会・総代会]
×
[店舗]



京都教育大学生協
総代会会議

POINT.1

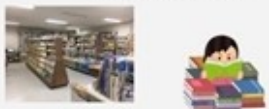
総代が声を届けやすい工夫満載です！

総代会議当日は総代会や総代の役割について伝えるだけでなく、「お店の外の席に屋根を付けてほしい」や「食堂のひとり席を増やしてほしい」など、昨年度の総代会で出た意見の中から反映したことを伝えました。声を反映したことを伝えることで、みんなで作る生協だということを実感し、総代が主体的に声をあげることにつながります！

また、組合員にもっとひとことカードを活用して欲しいという思いから、総代にひとことカードをその場で書いてもらいました。たくさんの意見が出され、この意見の中から総代会当日に取り上げてみんなで議論していきます。事前にひとことカードの形で意見を出すことで、総代会当日の活発な意見交流につながります！また、ひとことカードの存在を知ってもらうことで、総代会当日だけでなく年間を通じた運営参加にもつながりますね◎

書籍

書籍では本や教科書だけでなく
新刊種の乗車券なども買える！



食堂を利用するときのマナー

- 1.食事後はすみやかに席を譲ろう
- 2.順番を守ろう
- 3.食器の返し方に注意!
スプーンと箸は所定の場所に返却
お皿は重ねなくてください!
- 4.食器返却の際に「ごちそうさま」のひとこと!

▲今年度の総代は1回生が多いことから、店舗の利用方法を紹介しました！

POINT.2

組合員みんながわくわくするお店づくり

総代会議当日は、総代を対象に購買で扱っているパンの人気投票を行いました。総代会議後はポスターなどで購買を装飾し、組合員に向けてもパンの人気投票を行いました！

組合員がみんなで作るお店だということを実感し、楽しくお店を利用できますね◎



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [山崎 美久]
Yamazaki.Miku@univ.coop

企画担当者からのコメント

今までは総代の仕組みについて分かりづらい部分があったが、総代の仕組みをかみ砕いて説明したり実際に総代から出た意見を伝えてイメージできるように工夫した。また、総代が楽しく参加できるように購買扱うパンの人気投票を行って、総代の意見がお店に反映される実感を持ってもらったりお店の存在を知ってもらうようにした。

また、総代のLINEグループを作成してリマインドを行ったり年間を通じて総代であることが伝わるように学生委員会の企画の発信を行った。

実現したこと、その①

すばるの外の席に屋根を付けてほしい。



職員の方からのコメント

今年はコロナ禍の影響で、総代会の延期などもあり総代会議自体もコロナの影響で開催をどうするかというところでした。そんな状況の中でもコロナ対策を行いながら粘りよく取り組み立派に形にできたことは素晴らしいと思いました。またひとことカードの取組やブロンのもっり企画などこれまで京教の課題であった組合員と店舗の距離感が縮まったよい取組だと思いました。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

当日にひとことカードを記入してもらい、総代会当日やその後のお店づくりにつなげた。パンの投票企画には多くの参加があり、お店を知ってもらう機会になり利用者が増加した。

●取り組みから見えた課題

学生委員会と総代の違いが伝わりづらかった。また、企画担当者のみで進めてしまったので、学生委員会全体で話し合いながら進められればもっと良いものができたのではと思う。



組合員の現状

1回生の総代が殆どで、大学に慣れておらず総代や生協のお店について知らない。



組合員の理想の姿
実際に総代の声がお店に反映されることを実感。

2021年度活動方針との関係性

活動方針①：生協運営

大学生協が組合員組織であることを再認識し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう。

大切にしたい視点①

組合員とともに大学生協をつくっていく仕組みを整えましょう。

大学生協を組合員同士でたすけあう

4月から生協の購買が休業している影響で、引き取り手のいないお菓子・食品がピンチに陥っている状況です。その中で大学生協として「お菓子BOX」の宅配を始めました。

活動概要

日時：5月22日～
形式：値段を変えたセットを2種類（中身は生協スタッフのセレクト）
用意して、組合員のお家へと宅配するシステム。

POINT.1

**学生と職員が一緒になって
温かみのあるお菓子BOXになりました**



生協職員考案の企画で、お家時間が増えてからこそみんなの家に宅配で届けるという取り組みです。生協店舗が閉まり、余った食品を配布しました。食品ロスを防いでいますね！

元・現学生委員の子に、「値段などについて実際どう思う？」などと言った本音を聞いて、**職員と学生が一緒に取り組みました！**
学生委員としてどんな風に関わるかを考えたところ、回生別にメッセージをつけるのはどうかという意見が出ました！これはただ宅配するのではなく、**生協に対する想いや温かみのこもったBOXにしたい**という学生委員の想いから発案されたものです。

POINT.2

ここにも発見！たすけあい♡

実際に頼んで届いた組合員の声としては、思っていた以上に量があったようで、満足感を得ていました！また、いつも利用している生協（学生委員）からの**メッセージに対しても、ホッポリ喜んでくれていたみたいです！**

いつも利用している**大学生協を組合員同士でたすけあっている**姿勢が素晴らしいですね。実際に店舗を利用しているわけではないですが、このような形で運営参加出来るといいですね！



いつも身近にあって、組合員みんなが信頼している生協だからこそ、買ってくれた人がいたのかもしれないですね！
ブロック学生事務局 [谷村 優真乃]
Tanimura.Yukino@univ.coop

[店舗]
×
[とものつくる]



奈良県立大学生協
「お菓子BOX」

企画担当者からのコメント

例年通り4月から生協店舗を開けての営業が出来ず、買い手がいないお菓子や食品、飲料などの無駄をなくすために生協職員が発案した企画です。注文の受付や発送作業などは全て職員さんに任せてしまうことになるため、学生委員会でも何かできないかということで、手書きのメッセージを作成し荷物とともに同封するというのを考えました。手書きのメッセージがあることで、こんな状況で直接会えなくても人のあたたかさを感じてもらいたいという想いが込められています。少しでも手に取ってもらいやすいように二種類のBOXを用意したり、価格も送料や代引き手数料込みの値段にするなどの点も工夫しました。



職員の方からのコメント

前期が全てオンラインになることが決まった時には、すでに開講に向けての品揃えが完了しており、たくさんのお菓子を前に途方に暮れてました。特に夏に向けて気温が上がっていく中で、チョコ菓子の品質などを考え、一刻も早く購入してもらおう機会をもたないといけないと思い、考えた企画です。実際に学生に相談することで買やすい価格や申しやすい形が作れました。メッセージについても、集まらない中でも、すぐに多くの学生委員が作成し、送ってくれました。生協と一緒に支えてくれる学生委員がいてくれることに感動しました！

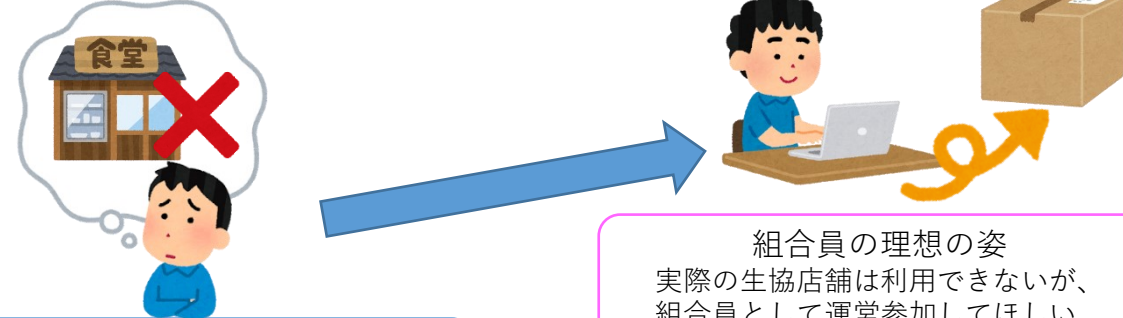
取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

2～4回生だけでなく、まだ実際に店舗を利用したことのない1回生の組合員の方からも注文してもらえて、少しでも組合員の運営参加を勧めることができたのではないかと思います。

●取り組みから見えた課題

自粛期間中ということもあり、情報宣伝が生協学生委員会のSNSと個人での宣伝しかできず、広く組合員に周知することができませんでした。好評だった半面、後から知ったという声も多く、組合員への周知にバラつきがでてしまったことが反省点です。



組合員の現状

オンライン授業となり、大学へも行けないため生協を利用していない。

組合員の理想の姿
実際の生協店舗は利用できないが、
組合員として運営参加してほしい。

2021年度活動方針との関係性

活動方針①：生協運営

大学生協が組合員そしきであることを再確認し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう

大切にしたい視点①

組合員とともに大学生協をつくっていく仕組みを整えましょう

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.7.14
Vol.030
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

総代会の事前活動を 工夫しました◎

議案書は情報量が多く、必要な情報の選択が難しいと感じた学生委員会が議案の内容をわかりやすく総代の人に伝えていました◎

活動概要

日程：議案書を総代に送るときに一緒に送付。
概要：議案書の内容を総代の人に理解してもらうために、学生委員会自身が議案書ダイジェストを作りました◎



POINT.1

より総代会を理解してもらうために



議案書に書かれてある情報が多すぎて、何が大事なのかが分かりづらい現状を学生委員会が把握し、必要な情報だけが載っている議案書ダイジェストを学生委員会が作りました◎ 学生自身の言葉で図を用いて説明してあるので、同じ学生である総代にとってよりわかりやすい内容を届けられていました◎

また、冊子の最後の方に用語集のページがあり、総代の人々が分かりにくい用語の解説を載せることで議案書の内容の理解を深めることができました◎ 更に、議案書ダイジェストの使い方をマンガ形式で伝えてわかりやすくすることで、より自分にとって総代会を身近に感じることができたり、総代が総代会へ参加しやすい形になっていました◎

POINT.2

組合員自身が参加するきっかけに

議案書ダイジェストの中に、学生委員会のことについても記載して、学生委員会を知ってもらう機会も作っていました◎ 総代が学生委員会の活動内容を知って、身近に感じてもらったり、今後の企画に参加したり、組合員自身が活躍するきっかけになっていると思います◎



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [山根 そよか]
Yamane.Soyoka@univ.coop

[機関運営]



大阪大学生協 議案書ダイジェスト

企画担当者からのコメント

議案が出来上がってから議案書を総代に送付するまでの間に、議案を理解し、記事を作り、製本するというスケジュールの過酷さ。新歓の時期もかぶっているという时期的な問題。そしてコロナウイルス。様々な問題がありながら、質を維持し、負担も減らしながら実行できたのは「綿密なスケジュール調整」と「職員さんとの連絡」にあったと思います。議案の内容が難しいという想いに気づき、できる限り読みやすい記事を作ったことがこの企画の一番の魅力です。



職員の方からのコメント

総代会議案書ダイジェストは、学生組合員（総代）と生協理事会をつなぐ大切な活動です。私たちは専従職員を中心に、事業や組織における方針の検討、そして年度総括を進め、議案書として仕上げますがそれを組合員視点でわかりやすく報告することから、総代会にて議案に対して意見を述べていただき阪大生協が新たな視点に気づくということがあります。そういった意味で継続していきたい活動です。

専務理事 野尻 郁智



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

総代会や議案に対する興味を引くことができた。そして、今年度は総代会が縮小に伴い、総代の多くが書面議決となった中、議案に触れる数少ない機会として、議案の理解に貢献できた。読んでもらいやすくするために、漫画などを用いて堅い雰囲気を出さないよう心掛けた。

●取り組みから見た課題

この企画を通じて総代が自身の役割を理解できた。しかし、総代としての役割を果たす機会が少ないことや、総代同士の繋がりが希薄なことで、「日常的な総代活動」を実行できていない。また、組合員全体に働きかけできていないことも課題である。



組合員の現状
総代や総代会について知らず、「運営」参加が十分にできていない。

組合員の理想の姿
総代会への出席だけでなく、様々な形で「運営」参加している。

2021年度活動方針との関係性

活動方針①：生協運営

大学生協が組合員組織であることを再認識し、組合員の積極的な運営参加を広げましょう。

大切にしたい視点②

大学生協の良さ・魅力を周りの組合員に伝え、コミュニティを広げていきましょう



誰一人取り残さないための学習会

昨今、多様な人々を理解し、受け入れていこうという社会の動きがあります。奈良女子大学生協ではすべての組合員がほっとできる大学生協を目指し学習会を実施しました。

活動概要

日時：2020年2月15日
場所：奈良女子大学生協食堂
参加対象：生協職員、パート、学生委員メンバー、学内SOGIサークルメンバー、事業連合職員、ブロック学生事務局、共済連職員、奈良県連、ならCOOP人事部、取引先（組合員と関わる可能性がある全ての方）



POINT.1 一人一人のアイデンティティを大事にする



奈良女子大学は2020年度の学部新入生よりトランスジェンダー女性の入学受け入れが決まりました。奈良女子大学生協ではトランスジェンダー女性を組合員に迎えることに伴い、不自由なく生協のお店やサービス、取り組みを受けられる環境を整えるため、今回の学習会を計画しました。

学内でジェンダーについて研究されている副学長先生の学習会と共に、基本的人権について法律家の先生を招いて憲法学習会も同時に行い、すべての組合員のアイデンティティを大事にした生協作りを学びました。

教訓としてはトランスジェンダーだけでなく、留学生や障害を持つ組合員など国籍する組合員の一人ひとりが平等により良い生活を目指せるような環境づくりがポイントです。

POINT.2 多様な組合員が居心地よく生協を利用するために

すべての組合員が居心地よく大学生活を送れるよう、学習会後、卒業持の男性用の物を準備したり、組合員証の名前の表示なども通称名で発行できるようにしました。アンケートなどでも性別欄を無意味に設けないなども取り組んでいます！また学生委員会の取り組みなどでは新学期冊子などの表記などにも配慮をし彼氏彼女、なども恋人に統一したりしました。



【社会的課題】



奈良女子大学生協 トランスジェンダー学習会

企画担当者からのコメント

奈良女子大学のトランスジェンダー受け入れの動きを鑑みて今回の取り組みが実現しました。学内の専門に研究をされている先生やSOGIサークルを含め奈良女子大学生協に関わる様々な方に参加いただき、今回学習会ができてよかったと思っています。

日本人は同調圧力が強く、違いを受け入れられないという特徴を持っています。

しかし大学生協は多様性を重視することを協同組合の価値としておいています。

共通の目標にむけ、協力し、達成することが活動の基本理念として持っており、これからもそれは変わりません。大学内には様々な考え方を持っている方がいます。皮膚の色や言語、宗教など違いはたくさん存在しています。その一つ一つをのりこえていくことが協同組合にとって重要な事だと思っています。

これからも多様性を受け入れた活動事業展開を行っていきたくと思っています。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

大学の情勢に合わせ様々な組合員と共に新しい組合員を迎える事について学びあうことができた。また奈良女子大学生協に関わる様々な業者と連携し、組合員が気持ちよく生協事業を利用できるように工夫できた。

●取り組みから見た課題

組合員の多様性を大学生協全体でこれからも考え続けていく必要がある。一人ひとりが気持ちよく生活をおくっていくためには様々な壁や障壁面存在していることを忘れてはならない。



組合員の現状
新しい組合員が私たちの仲間になるけれど、どんな人たちなのかな…？



組合員の理想の姿
新たな組合員とより良い生活をみんなで目指していこう～！

2021年度活動方針との関係性

活動方針④：社会をつくる
持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけを作りましょう

大切にしたい視点③
大学や他団体と連携し組合員が行動するきっかけをつくりましょう



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [金ヶ江七海]
Kanagae.Nanami@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.11.30
Vol.060

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

社会に目を向けるきっかけを

新型コロナウイルスの影響でオンラインでの活動が中心になった中でも、SNSで呼びかけるなどの工夫が見られました！

活動概要

【内容】

組合員に社会に目を向けてもらうため、生協店舗にペットボトルキャップの回収BOXを設けました。店舗でのポスターの掲示したり、SNSでの発信で発信したりすることで回収の呼びかけを行いました！



POINT.1

組合員に伝わる言葉でまとめる

昨年度のエリアフェスティバルでの他大学の人の交流をきっかけとして、組合員に社会に目を向けてもらいたいとの想いから、この企画がスタートしました！

このペットボトルキャップの回収を行う際には、ペットボトルキャップの回収が国際貢献やSDGsの達成にもつながっていることなどを調べたり考えたりして1枚のポスターにまとめていました！このように分かりやすくまとめることで、より組合員に伝わる言葉になり、共感を広げやすくなっていました！またこのポスターを生協店舗に掲示することで、身近なところから社会に目を向けてもらうことができていました！



POINT.2

継続的に社会に目を向ける

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業になり、実際に店舗に訪れることが少なくなった状況の中でもInstagramでペットボトルの回収を呼びかけることによって、組合員に継続的に社会に目を向けてもらうきっかけを作ることができていました！



【環境】



阪南大学生協 ペットボトルキャップの回収

企画担当者からのコメント

自大学で、社会に目を向けた取り組みを実行するのは、今までに無く、ほぼ初めての取り組みとなりました。

探り探りの中ではじまった企画でしたが、具体的に中身を決めていく中で、自分たちのやりたいことが明確になっていくことに楽しさを覚えました。

多くの組合員の方がキャップを回収ボックスに入れてくれる姿を見ることができるようになりました。

今は、コロナ期間の学校閉鎖も終え、また少しずつ回収量が戻ってきていると考えます。その中で、これからの課題として、組合員への報告をしっかりとることを行っていきたいと思います。

職員の方からのコメント

・2020年1月21日からスタートしたペットボトル回収活動は、『世界の子供を救おう!』をスローガンに現在も継続しています。現在は、コロナ禍で回収量は少ないですが、非常事態宣言発令までは、学生、教職員の参加が見られました。『回収場所はどこですか。』と言った店舗での問いかけもありました。また、これとは別に大学のゼミと企業が連携してSDGSの環境活動として大学マスコットがデザインしてエコバックの販売も生協が協力しています。産学連携活動に今後は、学生委員会も活動を強化していただけると期待しています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

・生協食堂やコンビニで購入したペットドリンクを飲みきったら、キャップを外して回収箱に入れる姿が日に日に多くみられました。回収ボックスがあふれる日もあり、学生委員会活動が、浸透しております。これはすごい成果であり、継続することが必要と考えます。

●取り組みから見えた課題

・回収ボックスがわかりにくい、回収場所が少ないなどの声もあります。本キャンパスだけではなく南キャンパスでも活動を広げることが課題です。今は学生が少ないですが、これまでの回収結果を告知したり、目標設定してみんなで達成する活動ができればと考えています。

組合員の理想の姿

一人でも多くの学生が友達に伝え、口コミでの拡大を目指せればと考えています。また、SDGSに参加して社会貢献になっていることをみんなが自覚できる活動になればと思います。



2021年度活動方針との関係性

活動方針④ 社会をつくる

持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけを作りましょう。

大切にしたい視点②

社会的課題に対して組合員が問題意識を持ち、自ら話せる機会を作りましょう。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [岡 映心子]
Oka.Emiko@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.6.10
Vol.020

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

総代から広がった取り組み！

阪神淡路大震災を経験した神戸。甲南大学生協では大震災を忘れてはいけないと毎年大切にしている1月に、総代の声から防災の取り組みが実現しました！

活動概要

日時：1月10日～1月20日
概要：1.17 にむけて、震災の写真展を開催復興アクションとして、食堂でひまわり油のこくうまみそ汁 を提供。



POINT.1

きっかけは総代の懇親会

今回の取り組みは、117KOBEBょうさい委員会に所属している総代が、総代会の懇親会の際に生協職員に声をかけたことから広がりました。総代会の懇親会は総代とコミュニケーションが取れる場です。総代である学生の声をしっかり聞き、大学生協・大学も協力し、たくさんの組合員に向けて、防災について考える機会を作りました。

POINT.2

忘れないように1.17に思いをはせる

1995.1.17に阪神・淡路大震災が起こり、神戸市にある甲南大学は大切な人々や思い出、建物などを失うこととなりました。震災から25年がたち、時間の経過とともに忘れてしまうことのないように、甲南大学では阪神・淡路大震災を大切にしています。

今回、1.17に向けて、震災のパネル展を開催しました。甲南大学の阪神・淡路大震災の記録や災害への備えをパネルや避難所再現にまとめています。このパネル展は117KOBEBょうさい委員会に所属している甲南大学生が中心となって、甲南大学、甲南大学生協、神戸新聞社が協力して開催されました。

阪神・淡路大震災のさまざまな人の経験や教訓を知り、防災について考えるきっかけになってほしいというたくさんの人の願いが込められた取り組みになりました。



大学提供の
大学周辺の
被災の様子



大学生協
提供の
他大学生協
からの応援
メッセージ

[機関運営]
×
[防災]



甲南大学生協 1・17防災の取り組み

[2枚目はコチラから](#)

企画担当者からのコメント

甲南大学生協総代の
企画立案の学生より

117KOBEBょうさい委員会の中で、震災後25年を迎えるにあたってやりたいことはありませんかとお知らせがありました。これまでのイベントは小、中学生向けのもが多かったのですが、私はぜひ同年代の人たちに震災について知ってほしいと思い、大学生向けのイベントをやりたいと思いました。

甲南も大きく被災した大学だったので、少しでも甲南生に知ってもらいたいと考えました。僕たちだけでは力が足りなかったので、生協の力をお借りできればと思い声をかけさせていただきました。

職員の方からのコメント

甲南大学生協
内田専務より

甲南大学生協は、いろいろな学生さんから協力を求める声がありますが、震災の件は今回が初めてでした。何度か話し合いをする中で、取り組みへの真剣さに私自身も勇気をもらえたとし、企画を立ち上げた学生さんが生協を頼ってくれて、そのお手伝いができたことはすごくうれしかったです。今回のように「こんなことをやりたい」と言ってきてくれる学生はもちろん、何かやりたい、けれどどうしていいかわからずなかなかできていないという学生にも呼びかけられる活動をどんどんやっていきたいです。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

取り組みに参加した組合員が身近なところから震災について知り、考える機会になった。さらに、取り組みの立案に携わった学生も震災について学ぶ中で大きな財産を得ていた。

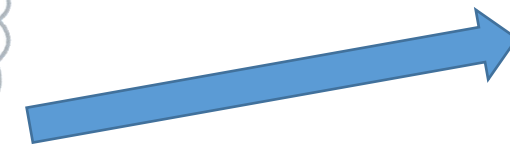
●取り組みから見えた課題

学生同士が直接つながる機会が少なくなったので、何かやりたいけれどなかなかできていない学生に対して呼びかけられるように。



組合員の現状

- ・同年代の学生に震災について知ってほしい
- ・大震災の教訓が薄れており防災意識が低い



組合員の理想の姿
大震災での教訓を知り、考えることで防
災意識を高め、行動している

2021年度活動方針との関係性

活動方針④ 社会をつくる

持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動する
きっかけを作しましょう。

大切にしたい視点③

大学や他団体と連携し組合員が行動するきっかけをつくりましょう

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.21
Vol.048
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

社会に関心を持つきっかけは 継続的な発信から

社会に目を向ける取り組みとして、毎週ちょっぴりにを作成し継続的に組合員へアプローチすることができていました！

活動概要

- 【背景】組合員・学生委員が社会に目を向けるきっかけを作りたいという想いから
- 【内容】「ちょっぴりに」を作成し、毎週TwitterやInstagramに投稿
- 【期間】4月～毎週発行してます



POINT.1

防災 #豪雨災害編

二年前の西日本豪雨や今年の九州豪雨災害など、最近では豪雨による災害が増加している傾向があります。どのような被害を想定したらいいかキンキーと学んでいこう！

①洪水

豪雨で一番考えられる被害は洪水です。特に高層階の部屋では、マンホールふたが浮き上がり、流れている可能性があり、転落するおそれがあります。絶対に居た場所から逃げないで！また、避難するのに傘を使うのは危ない！傘が壊れてしまうおそれがあります。避難の際は靴は脱ぎます！

☆豆知識☆

足がつかない程の水深は危険！なぜなら靴の中の水が入って足がやくなるから。避難靴が一番安全です！

NO GOOD

社会的課題は難しい？

近畿大学生協では、社会に目を向ける取り組みとして多くの人が気軽に見ることができる「ちょっぴりに」を毎週作成・更新しています。社会的課題は難しい印象がありますが、まずは作成する自分たちが興味を持っていることから調べ、組合員と同じ学生としての「ちょっと気になる」を取り上げることができていました◎

さらに、社会的課題は単発的でなく継続的に取り組むことでより多くの人が考えられるきっかけにしようという想いも込められています！

POINT.2

「今」の社会を見据えた内容

発信する内容は社会の現状という点も意識しています！

今年の7月から始まったレジ袋の有料化に関するテーマや、夏に台風や豪雨災害が多くあったことから防災に関連した内容を発信していました。今の社会に着目することで、組合員が社会の一員であるという意識を持つきっかけにもなりました◎



【社会的課題】



近畿大学生協
週刊ちょっぴりに

企画担当者からのコメント

とにかく継続を意識した企画です。どんな発信物であっても、継続して発行しないことには見てもらえないはず。社会的課題に関して発信を行うツールで最もポピュラーなちょっぴりにを週刊にして、それを実現しました。作成を通して社会的課題に対して深く考えるようになり、それをより知ってもらうために他の企画が実現したり、という流れが生まれたのも良かったです。

企画の今後に関しては、まずは半年継続できたことを喜びつつ、組合員の声を聴きながら様々なテーマに触れることができているかなと思っています。(学生委員長 小嶋)

職員の方からのコメント

とりわけ、コロナ禍において学生会のリアル活動ができない中でSNSを活用した継続的な取り組みとして頑張ってくれていると思います。

「ちょっぴりに」として時事ネタを取り入れていたり、ちょっぴりに以外のコンテンツも盛り込まれているので、学生組合員からすると興味を持って閲覧いただけているかと思っています。表紙についても雑誌の表紙を意識しており私もそのセンスにはいつも感心しています！(専務理事 後藤)

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
組合員の目を引くため、継続的に発信することができました！また、分野やジャンルを絞るのではなく、タイムリーな内容にも対応することでより多くの人に見てもらえることができました◎
- 取り組みから見えた課題
社会に目を向けるきっかけを作りましたが、その先の組合員の行動が追いつかなくなったこと、気付きを取り組みへ反映させることが難しかったことが課題としてあります。



組合員の現状
日常的に社会へ目を向けるきっかけがなかなかない



組合員の理想の姿
社会的課題に関する興味・関心を持つことができるようになる

2021年度活動方針との関係性

活動方針④：社会をつくる
持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけを作りましょう

大切にしたい視点①
大学生協が社会的課題に取り組む意義を確認しましょう



Twitterはこちら→[Twitter icon](#)
Instagramはこちら→[Instagram icon](#)



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [乾 遥可]
Inui.Haruka@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.22
Vol.050

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

みんなで改めて学ぶ場を！

この状況の中でも学び合いをしたいという想いから、感染症対策に十分気を配ったうえで、勉強会を行いました！

活動概要

日時：2020年8月26日（水）
13時半～17時

場所：UNITY（学園都市）

内容：「大学生協について」、「共済」、「平和と消費者教育について」の3本立てで、PowerPointの資料を用いて勉強会を行った。



POINT.1

1年生も上級生も共に学ぶ

学生委員会の上級生を中心に勉強会の企画・実施がされました。目的としては、入部時期の関係でセミナーなどに参加できなかった新入部員に対して大学生協について知ってもらいたいということでしたが、勉強会では**新入部員はもちろんですが、上級生も改めて学んで考える機会になっていました◎**

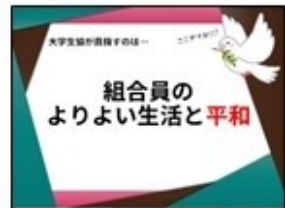
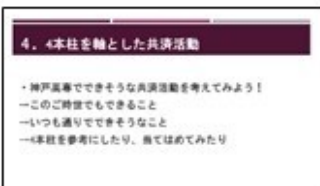
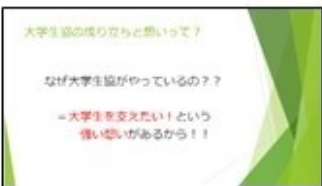
共済の時間では、神戸高専での共済活動を振り返りつつ、これからの活動を考えてみようという提案したり、平和の時間では身近な場所を話題に出して平和について考えたりと、**聞いている側が自分事に落とし込みながら聞けるような内容になっていました！** +αで、グループワークなどでみんなで意見を交わす場があればより自分の考えを落とし込めたのかなと思います。



POINT.2

自分たちの学びを形にして

この勉強会の資料は、今まで参加したセミナーや交流会をもとに作られていました。自分が**今までに学んだことや感じたことをアウトプットする形で周りの部員にも伝えられたことで、より聞いている人に伝わる内容**になったのではないのでしょうか。



【共済】
×
【平和】

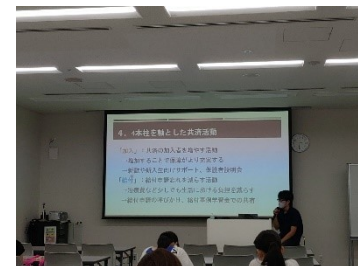


神戸市立工業高等専門学校生協 部内勉強会

企画担当者からのコメント

自分たちが一度経験した企画を4つの使命の結び付けたり、共済の4本柱を結び付けたり、平和の話も身近な場所の話をもってきたりと、聞いている側がより実感をもって学んでもらえるような工夫をしました。

全体的にGWの時間をあまりとらなかったのもう少し導入して、部員同士も話ができるようにしたらよかったです。今後は、この学びをどう生かしていくのか、また学生委員だけでなく、学生委員会に入っていない組合員にもk何が得てもらえるような機会を作っていきたいです。



職員の方からのコメント

この部内勉強会は、例年1泊2日の合宿形式で実施していましたが、今年度はコロナウイルスの影響により学内で宿泊が出来ないため、テーマを絞って実施しました。

座学中心の構成で、新入生が内容を理解できるか心配でしたが、上級生の作った資料がわかりやすくまとめられており、生協や共済に関する理解を深めた様子でした。これまで参加した各セミナーでの学びが成長につながっていることを実感できる場面でした。

また、この勉強会を通じて、知識としての学びはもちろんですが、新入生と上級生が親交を深める一助となりました。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入部員はもちろん、上級生も改めて生協について学びなおし、考える機会になっていました。そうすることで、今後の取り組みにもつながるきっかけとなりました。

●取り組みから見えた課題

今回は部内学習会を行いました。部内だけではなくこれからのセミナーなどの学びの場のようにつなげていくかも考えていき、より深い学びになればいいかなと思います！



組合員の現状
1年生からすれば、生協とはどのような組織なのかもわからない。



組合員の理想の姿
改めて学んだことや感じたことを、周りにも発信したり広めたりする。

2021年度活動方針との関係性

活動方針④：社会をつくる
持続可能な社会の実現に向けて、知り・知らせ・考え・話し合い・行動する
きっかけを作りましょう

大切にしたい視点①
大学生協が社会的課題に取り組む意義を確認しましょう

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [芝田 美里]
Shibata.Misato@univ.coop



高めあい
つながる想いを大切に



関西北陸ブロック活動事例集

2020年10月23日初版発行
 2020年11月13日第2版発行
 2020年12月4日 第3版発行
 2021年1月25日 第4版発行

発行元：全国大学生生活協同組合連合会 関西北陸ブロック
 (大阪市淀川区西宮原2-7-15 大学生協大阪会館5階)

編集者：全国大学生協連関西北陸ブロック 学生事務局